

唾液検査用装置

SillHa

LH-4912 | 取扱説明書

1 はじめに

このたびは、弊社の唾液検査用装置 シルハ LH-4912をご購入いただき、まことにありがとうございます。ごぞいます。

本装置は研究用機器であり、疾病の診断もしくはその補助を目的として使用することはできません。

この取扱説明書では、本装置の概要にはじまり、操作方法やお手入れの方法などを説明しています。また、この取扱説明書に記載された使用方法および使用目的以外での使用については、保証いたしません。この取扱説明書およびシルハペーパーに付属の添付文書にしたがって使用してください。

EMC 適合

本装置は、EMC規格IEC61326-2-6:2012に規定しているエミッションおよびイミュニティ要求事項に適合しています。

特記事項：エミッションの分類 クラスA

本装置は、CISPR11クラスAにしたがって設計し、試験をおこなっております。家庭環境では電波障害を引き起こすことがあり、その場合は、干渉を軽減する処置をする必要があります。装置の動作に先立って、電磁環境の評価をおこなうことが望ましいです。電磁放射源によって適正な動作が妨げられることがあるため、強力な電磁放射源（例えば、遮蔽されていない意図的なRF源）の近くで使用しないでください。

本装置に使用する試験紙および別売品の購入などにつきましては、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。



- 本装置は測定試料に洗口吐出液を使用します。測定試料を取り扱うときは、病原微生物の感染を防ぐために保護手袋をつけてください。
- 本装置は臨床検査および感染性廃棄物に関する知識をもった人が使用してください。また、使用前には必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- 試験紙ホルダなど測定試料が付着していると考えられる箇所には、素手で触れないでください。これらの箇所をお手入れされるときは、病原微生物の感染を防ぐために保護手袋をつけてください。
- 使用済みの測定試料、試験紙、装置の部品および装置などは、一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

注記

本装置は精密機器です。取り扱いには十分に注意し、強い衝撃や振動を与えないでください。

- ・ 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは、禁止されています。
- ・ 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書は内容に関して万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどにお気づきの際は、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。

2

取扱説明書の表記について

この取扱説明書では、注意していただきたいことやお願いしたいことを、以下のような記号を使って表しています。

■人身事故に関するもの



この記載事項をお守りにならないと、使用者や周囲の人が病原微生物の感染を受けるおそれがあります。



この記載事項をお守りにならないと、使用者や周囲の人がけがをしたり、物的損害を受けるおそれがあります。

■製品の損傷や性能に関するもの



この記載事項をお守りにならないと、正しい測定結果が得られません。



装置の故障や部品の破損につながること、覚えておいていただきたい情報を記載しています。



操作上の参考になることや補足説明、関連する機能についての情報を記載しています。

■操作に関するもの



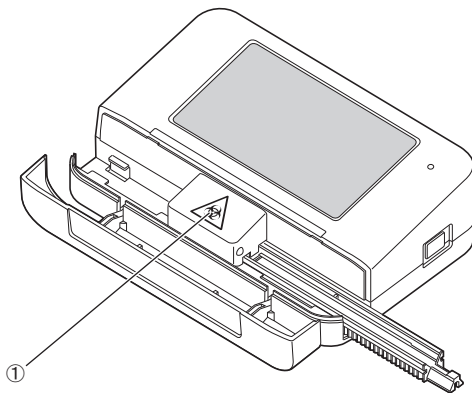
唾液検査結果シート作成プログラムの操作に関する説明です。



装置の操作に関する説明です。

3 警告ラベルの説明

本装置では、注意していただきたい箇所に警告ラベルを貼りつけています。以下に警告ラベルの説明をしますので、必ずご確認ください警告内容をお守りください。



①測定部カバー内部・試験紙ホルダ

測定部カバーの内部と試験紙ホルダには、素手で触れないでください。試験紙をセットするときや、お手入れをするときは、病原微生物の感染を防ぐために保護手袋をつけてください。

1	はじめに	i
2	取扱説明書の表記について	ii
3	警告ラベルの説明	iii
4	もくじ	iv

第1章 ご使用になる前に 1-1

1.1	LH-4912の概要	1-1
1.1.1	特長	1-1
1.1.2	仕様	1-2
1.1.3	測定原理	1-3
1.2	梱包品の確認	1-4
1.3	各部の名称とはたらき	1-5
1.3.1	装置	1-5
1.3.2	装置の表示/操作パネル	1-6
1.3.3	唾液検査結果シート作成プログラムの画面	1-9
1.4	装置の設置・移動時の注意	1-10
1.4.1	設置上の注意	1-10
1.4.2	移動時の注意	1-11
1.5	インストールと接続	1-12
1.5.1	唾液検査結果シート作成プログラムをインストールする [Windows編]	1-12
1.5.2	唾液検査結果シート作成プログラムをインストールする [Mac編]	1-16
1.5.3	装置・パソコン・プリンタを接続する	1-19
1.5.4	装置ソフトウェアの自動バージョンアップ	1-21

第2章 測定操作 2-1

2.1	操作の流れ	2-1
2.2	測定にあたっての注意事項	2-3
2.2.1	測定試料の取り扱い	2-3
2.2.2	試験紙の取り扱い	2-3
2.3	測定の準備	2-4
2.3.1	唾液検査結果シート作成プログラムを起動する	2-4
2.3.2	装置を始動する	2-4
2.3.3	患者情報を入力する	2-6
2.4	測定操作	2-8
2.4.1	測定試料を採取する	2-8
2.4.2	測定する	2-9
2.5	検査結果の見かた	2-14
2.6	結果シートの作成	2-16
2.6.1	結果シートを作成する	2-16
2.6.2	結果シートを印刷する	2-18
2.6.3	結果シートの印刷例	2-19
2.7	チェック測定	2-21
2.8	一日の終わりに	2-25

3.1	補助操作の一覧	3-1
3.1.1	装置の補助操作	3-1
3.1.2	唾液検査結果シート作成プログラムの補助操作	3-2
3.2	装置の設定	3-4
3.2.1	日付・時刻を設定する	3-4
3.2.2	カルテ番号の表示桁を設定する	3-6
3.2.3	音量・画面の明るさを調整する	3-7
3.2.4	試験紙のセット方向を変更する	3-8
3.3	履歴	3-11
3.3.1	最新の測定結果をパソコンへ再送信する	3-11
3.4	検査結果の呼び出し	3-12
3.4.1	検査結果を呼び出す	3-12
3.4.2	未作成の結果シートを編集する	3-13
3.5	結果データの操作	3-14
3.5.1	結果データをエクスポートする	3-14
3.5.2	結果データをインポートする	3-15
3.5.3	患者情報をインポートする	3-16
3.5.4	結果データの一覧表を作成する	3-17
3.6	コメントの設定	3-18
3.6.1	医院・医師の名称を登録する	3-18
3.6.2	結果シートのコメントを作成する	3-20
3.6.3	総合コメントを作成する	3-22

4.1	お手入れの時期	4-1
4.2	お手入れ方法	4-2
4.2.1	試験紙ホルダを清掃する	4-2
4.2.2	測定部を清掃する	4-5
4.2.3	駆動速度を調整する	4-6
4.2.4	装置のソフトウェアを手動でバージョンアップする (必要なとき)	4-7

5.1	装置のトラブル対策	5-1
5.1.1	ウォーニングの原因と処置	5-2
5.1.2	エラーの原因と処置	5-3
5.1.3	トラブルの原因と処置	5-4
5.2	唾液検査結果シート作成プログラムのトラブル対策	5-5
5.2.1	ウォーニングの原因と処置	5-6
5.2.2	エラーの原因と処置	5-7
5.2.3	トラブルの原因と処置	5-8
5.3	アフターサービス	5-9

6.1	索引	6-1
------------	-----------------	------------

本装置を使用する前に知っておいていただきたいことを説明します。

1.1 LH-4912の概要

1.1.1 特長

- 短時間で複数項目の測定が可能

1測定約5分という短時間で、同時に6項目（むし歯菌、酸性度、緩衝能、白血球、タンパク質、アンモニア）の測定が可能です。

- [測定] ボタンを押すだけの簡単操作

測定操作は、[測定] ボタンを押して、測定試料を滴下した試験紙を置くだけです。測定結果は自動でパソコンに送信されます。自動分析に不慣れな方でも簡単、正確に測定できます。

- 見やすいグラフィック表示

検査結果はパソコンの専用ソフトウェアで、表やグラフを使ってわかりやすく表示できます。

- 手間のいらない日常メンテナンス

毎日のお手入れは、試験紙ホルダの清掃だけです。専用工具を使わず、簡単に試験紙ホルダの取りはずしができます。

- セルフチェック機能を搭載

装置の起動時に光量や駆動速度などをチェックします。測定できない状態を検出すると、エラーを発生してお知らせします。

1.1.2 仕様

■装置仕様

項目	内容
名称	唾液検査用装置 シルハ LH-4912
構成	分析器本体、外部パソコンソフトウェア（唾液検査結果シート作成プログラム）、付属品
測定対象	洗口吐出液
使用試験紙	シルハペーパー
測定項目	むし菌菌、酸性度、緩衝能、白血球、タンパク質、アンモニア
測定原理	2波長反射測光法
測定波長	565 nm/635 nm/760 nm
試料供給方法	マニュアル滴下
測定時間	約5分/測定試料
測定試料架設数	1測定試料
起動時間	最大30秒
外部出力	USB 1ポート
測定環境	温度：10～30℃、湿度：30～60% R.H.（結露しないこと）
保管環境	温度：1～35℃、湿度：20～80% R.H.（結露しないこと）
輸送環境	温度：-10～60℃、湿度：20～80% R.H.（結露しないこと）
外形寸法	160（幅）×105（奥行）×51（高さ）mm
重量	約430 g（充電電池を含む）
電源	USB（DC 5 V、充電電池を使用）
電源入力	DC 2.5 W以下
音圧レベル	80 dB以下
使用場所	屋内使用専用
最大高度	2000 m
汚染度	2
耐用期間	5年（自己認証による）

■パソコンのハードウェア要求

パソコンで唾液検査結果シート作成プログラムを実行するには以下の環境が必要です。

項目	必須
OS	・ Windows® 7以降 ・ MAC OS X (v10.10以降) ※使用環境や設定状況によっては正しく動作しない可能性があります。
プロセッサ	Intel® Pentium II 266 MHz 以上
メインメモリ	Windows®の場合：1 GB以上 MAC OSの場合：2 GB以上
HDD/SSD空き容量	1 GB以上
解像度	VGA (640×480) 以上
USB	USB2.0 5 V 500 mA

Windows®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

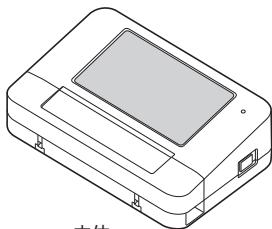
Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

1.1.3 測定原理

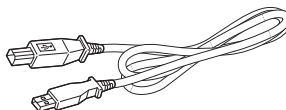
本装置は、2波長反射測光法により測定試料（洗口吐出液）を測定します。測定試料を滴下した試験紙の色の変化を565 nm、635 nm、760 nmの光の反射率で測定することにより、むし菌菌、酸性度、緩衝能、白血球、タンパク質、アンモニアを測定します。

1.2 梱包品の確認

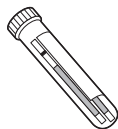
装置の箱には以下のものが入っています。これらがすべて揃っていることを確認してください。欠品、不良品などがありましたら、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。



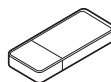
本体



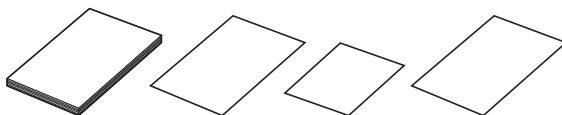
USBケーブル



チェックストリップ



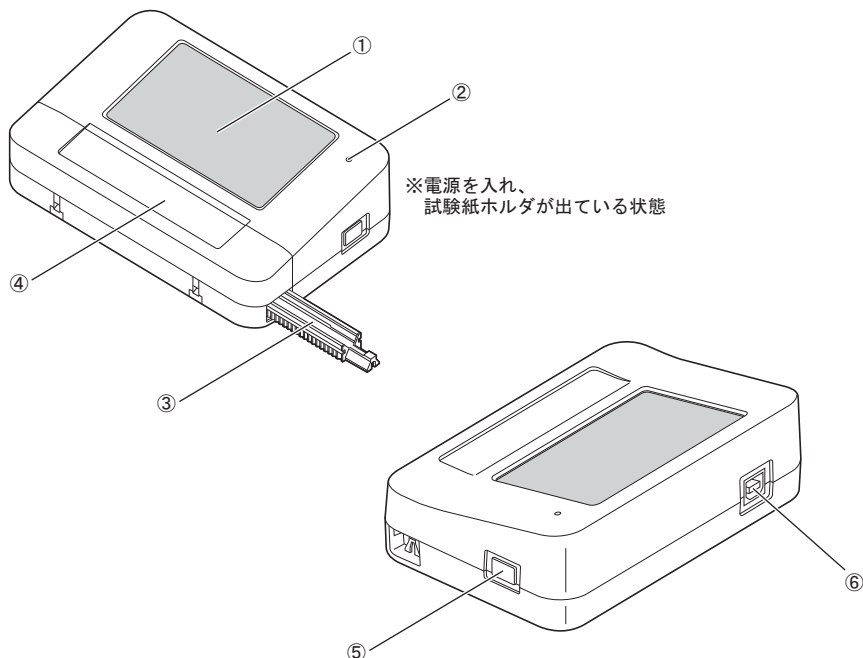
USBメモリ
(唾液検査結果シート作成プログラム・取扱説明書)



取扱説明書（本書）、添付文書、保証書、別売品リスト

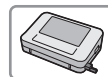
1.3 各部の名称とはたらき

1.3.1 装置



番号	名称	はたらき
①	表示/操作パネル	タッチ式のパネルです。画面に表示されるボタンにタッチすることで操作します。
②	充電表示ランプ	点灯（赤色）：充電中、消灯：未充電
③	試験紙ホルダ	測定試料を滴下した試験紙をここにセットします。
④	測定部カバー	このカバーを開けて試験紙をセットします。
⑤	電源スイッチ	1秒以上長押しすると、電源が入ります。 2秒以上長押しすると、電源が切れます。
⑥	USB端子	付属のUSBケーブルをここへ接続し、反対側をパソコンに接続します。パソコンとの通信および装置の充電に使用されます。

1.3.2 装置の表示/操作パネル



表示されたボタンを指でタッチして操作します。

参考

●操作音について





ボタンにタッチすると「ピッ」と確認音が鳴ります。無効なボタンの場合は通常とは異なる音でお知らせします。エラーが発生すると「ピ、ピ、ピ、ピ」という連続音で警告します。

●バックライトが消えたら

何も操作せず一定の時間（約5分）が経過すると、パワーセーブのためパネルのバックライトが消えます。元にもどすには、パネルにタッチするか、電源スイッチを押してください。バックライトが消えた後、何も操作せずさらに一定の時間（約60分）が経過すると、電源が切れます。

■トップメニュー画面



番号	名称	はたらき
①	日付・時刻	現在の日付と時刻です。
②	温度	装置の温度です。0～40℃の範囲で表示されます。0℃より低い場合は「LO」、40℃を超えると「HI」と表示されます。
③	充電残量表示	電池の残量を示します。  電池が十分にあります。  残量が減っていますが、測定はできます。  残量が減っていますが、測定はできます。  残量が減っています。赤色枠の場合は残量不足のため測定できません。
④	[測定] ボタン	試料を測定します (2-9ページ参照)。
⑤	[設定] ボタン	日付、カルテ番号表示、音量、画面の明るさ、試験紙のセット方向の設定をします (3-4～3-10ページ参照)。
⑥	[履歴] ボタン	最新の測定結果をパソコンへ再送信します (3-11ページ参照)。
⑦	[メンテナンス] ボタン	チェック測定、試験紙ホルダの清掃、駆動速度の調整をおこないます (2-21ページ、4-2ページ、4-6ページ参照)。

■測定画面

カルテ番号
入力待ち



パソコンから
カルテ番号を受信

測定待機中



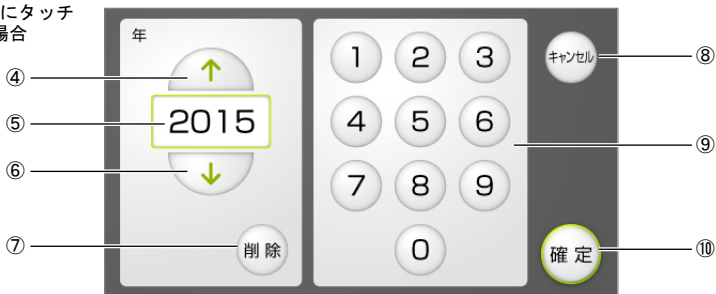
番号	名称	はたらき
①	操作ガイド	測定の手順と制限時間です。
②	カルテ番号	パソコンから受信したカルテ番号が表示されます。
③	[メニュー] ボタン	トップメニュー画面にもどります (1-6ページ参照)。
④	状態表示	[測定] にタッチしてからの進捗状況を示します。
⑤	[開始] ボタン	カルテ番号を受信すると有効になります。グレーアウトしている間は無効です。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>重要 正しい測定結果を得るため、画面の操作ガイドおよび2-9ページ「2.4.2. 測定する」の手順にしたがって操作してください。</p> </div>

■設定画面



数値にタッチ

例)「年」にタッチした場合

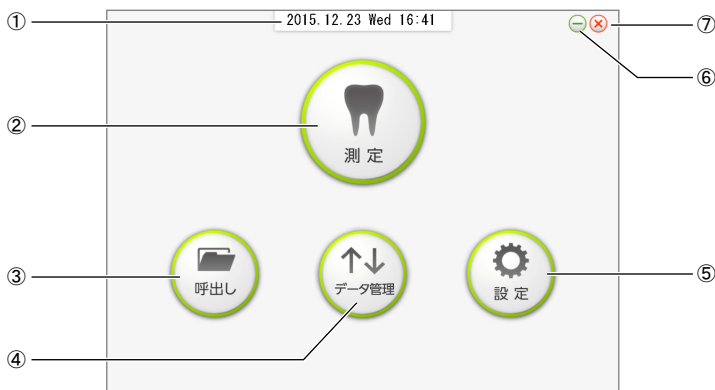


番号	名称	はたらき
①	タブ	タッチすると、選択した項目の画面が表示されます。
②	設定値	入力欄（黄緑色の枠）にタッチすると、数値を変更できます。
③	[メニュー] ボタン	トップメニュー画面にもどります（1-6ページ参照）。
④	[↑] ボタン	数値を“1”増加させます。
⑤	入力欄	入力した数値が表示されます。
⑥	[↓] ボタン	数値を“1”減少させます。
⑦	[削除] ボタン	現在の数値を1桁ずつ削除します。
⑧	[キャンセル] ボタン	入力した数値を取り消して、前の画面にもどります。
⑨	テンキー	数値を入力します。
⑩	[確定] ボタン	入力した数値を確定して、前の画面にもどります。

1.3.3 唾液検査結果シート作成プログラムの画面



■ トップメニュー画面



番号	名称	はたらき
①	日付・時刻	現在の日付と時刻です。
②	[測定] ボタン	測定モードに入ります (2-6ページ参照)。
③	[呼出し] ボタン	過去の検査結果を呼び出します (3-12ページ参照)。
④	[データ管理] ボタン	結果データをエクスポート、インポートします (3-14ページ、3-15ページ参照)。
⑤	[設定] ボタン	コメントを設定します (3-18ページ参照)。
⑥	[－]	画面を最小化します。
⑦	[×]	唾液検査結果シート作成プログラムを終了します。

1.4 装置の設置・移動時の注意

1.4.1 設置上の注意

装置を設置するときは、以下の注意をよくお読みになり、常に安全に気を配りながら作業をしてください。

- 温度変化が少なく、温度20～30℃、湿度30～60%に調節できる部屋に設置してください。本装置は10℃から測定可能ですが、20℃未満の場合はむし菌とアンモニアの測定結果が参考値となります。
- 温度差のある環境から移動させてきた場合は、1時間以上、室温になじませてから測定してください。
- 水滴、日光、風が直接あたらない場所に設置してください。
- 水平で振動のない、丈夫な台の上に設置してください。
- 試験紙ホルダの移動の妨げになりますので、装置の左右7 cm以内には何も置かないでください。
- 磁石、スピーカーなど磁気の近くに置かないでください。
- 化学薬品の保管場所や腐食性ガス、電氣的ノイズを発生するものの近くには置かないでください。
- 水などで濡らさないでください。装置内に水が入ると、故障の原因になります。
- 落としたり、ぶつけたりしないでください。
- 異音や異臭、煙が出るときはただちに電源を切り、USBケーブルをはずしてください。異常が継続していないことを確認して、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。
- お客様独自で装置を修理したり、改造したりしないでください。装置が破損してけがをすることもあります。
- 長期間ご使用にならないときは、パソコンへ接続しているUSBケーブルを装置から取りはずしてください。

1.4.2 移動時の注意

装置を移動するときは、以下の注意をよくお読みになり、常に安全に気を配りながら作業をしてください。

- 装置内部から試験紙を取り出してください。試験紙を装置内部に残したまま装置を移動すると、装置内部に病原微生物が拡散するおそれがあります。
- 電源スイッチを長押しして電源を切ってください。次に、装置からUSBケーブルを取りはずしてください。
- 移動の際は、衝撃や振動を与えないでください。装置が故障するおそれがあります。
- 装置を移動する前に、1-10ページ「1.4.1. 設置上の注意」もお読みください。

1.5 インストールと接続

唾液検査結果シート作成プログラムは、本装置の測定結果を受信して、結果シートを作成するためのパソコン用ソフトウェアです。

1.5.1 唾液検査結果シート作成プログラムをインストールする [Windows編]



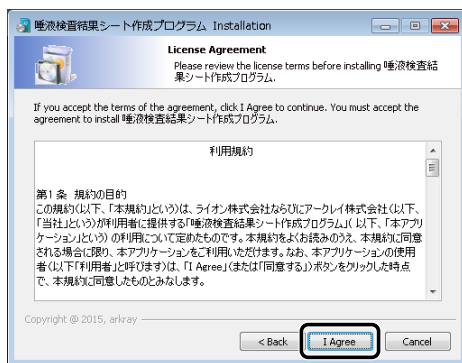
Windowsパソコンをご使用の場合は、以下の手順にしたがって唾液検査結果シート作成プログラムをインストールしてください。

準備するもの：USBメモリ（付属品）

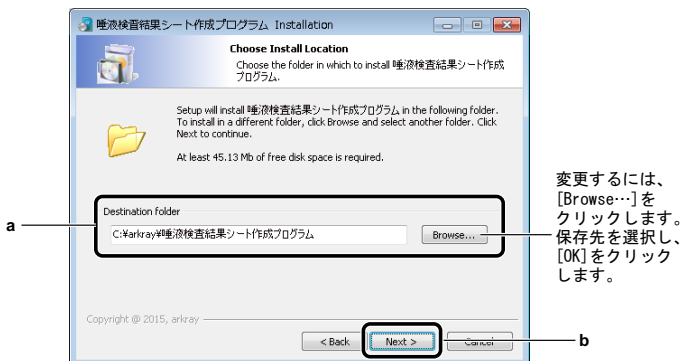
- ① USBメモリをパソコンのUSBポートに接続します。
- ② USBメモリ内の「Windows版_唾液検査結果～.exe」をパソコンのデスクトップにコピーし、ダブルクリックします。
 - ・ インストーラ画面が表示されます。
- ③ [Next] をクリックします。



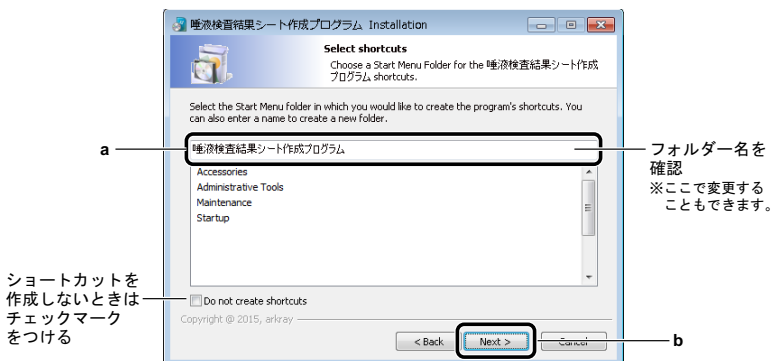
- ④ 利用規約をお読みいただき、[I Agree] をクリックします。



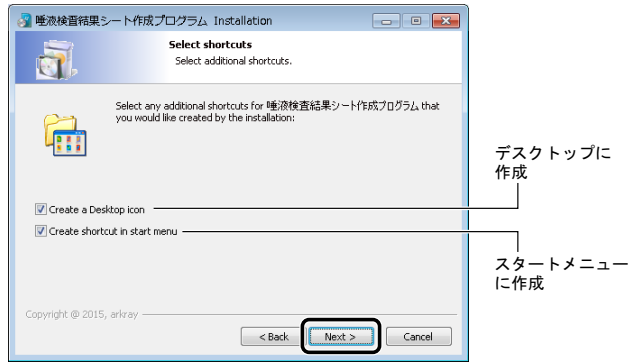
- ⑤ [Destination folder] でインストール先のフォルダー名を確認し (a)、[Next] をクリックします (b)。



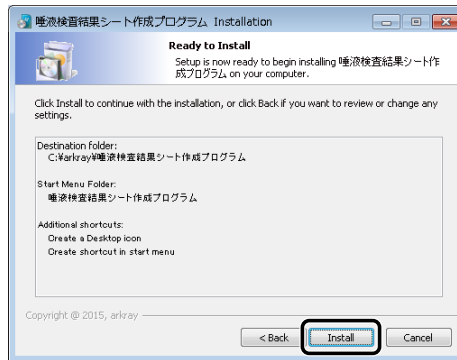
- ⑥ スタートメニューに追加するフォルダー名を確認し (a)、[Next] をクリックします (b)。
・ このフォルダーにショートカットが保存されます。



- 7 ショートカットを作成する場所を選択し、[Next] をクリックします。



- 8 設定を確認し、[Install] をクリックします。



- ・ インストールが開始されます。

参考

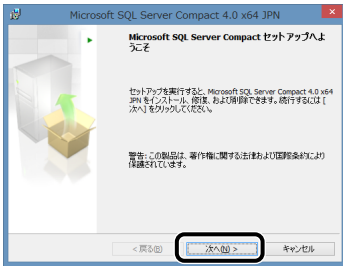
Microsoft .NET Framework 4 セットアップ画面が表示された場合



- ① ライセンス条項をお読みください。次に [同意する] にチェックマークを入れ、[インストール] をクリックします。インストールが開始されます。
- ② 「インストールが完了しました」と表示されたら、[完了] をクリックします。

参考

Microsoft SQL Server Compact セットアップ画面が表示された場合



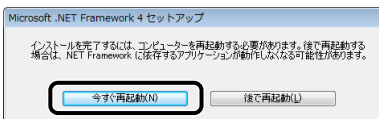
- ① [次へ] をクリックします。
- ② 使用許諾契約書をお読みください。次に [同意する] にチェックマークを入れ、[次へ] をクリックします。
- ③ [インストール] をクリックします。インストールが開始されます。
- ④ 「セットアップの完了」と表示されたら、[完了] をクリックします。

- ⑨ 以下の画面が表示されたら、[Finish] をクリックします。



参考

以下の画面が表示された場合



[今すぐ再起動] をクリックして、パソコンを再起動します。

- ⑩ デスクトップに右図のショートカットアイコンが作成されていることを確認します。
 - ・ 手順 ⑥ でショートカットを作成しないように設定した場合は、このアイコンは表示されません。
- ⑪ USBメモリをパソコンから取りはずします。



→1-19ページ「1.5.3. 装置・パソコン・プリンタを接続する」に進みます。

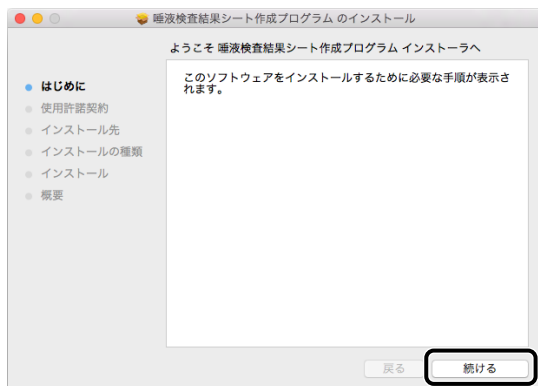
1.5.2 唾液検査結果シート作成プログラムをインストールする [Mac編]



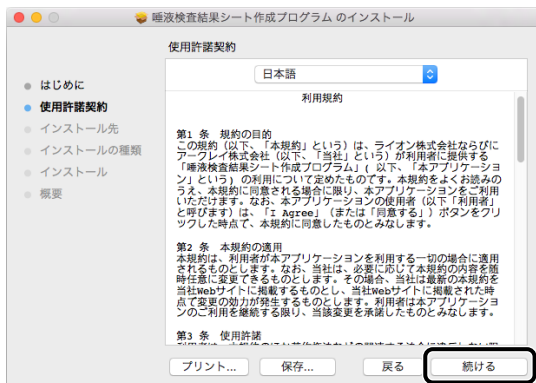
Macをご使用の場合は、以下の手順にしたがって唾液検査結果シート作成プログラムをインストールしてください。

準備するもの：USBメモリ（付属品）

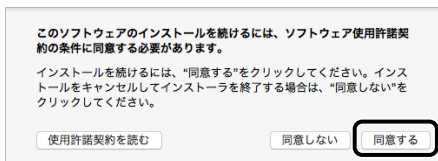
- ① USBメモリをパソコンのUSBポートに接続します。
- ② USBメモリ内の「Mac版_唾液検査結果～.pkg」をパソコンのデスクトップにコピーし、ダブルクリックします。
 - ・ インストーラ画面が表示されます。
- ③ [続ける] をクリックします。



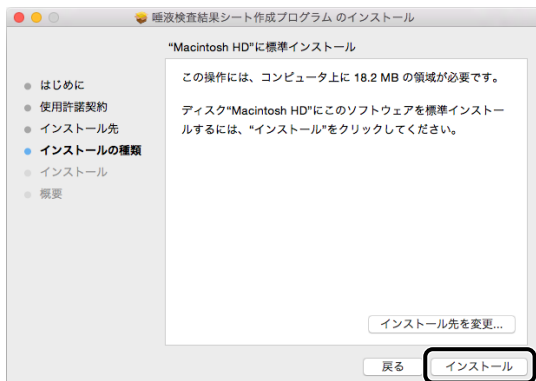
- ④ 使用許諾契約をお読みいただき、[続ける] をクリックします。



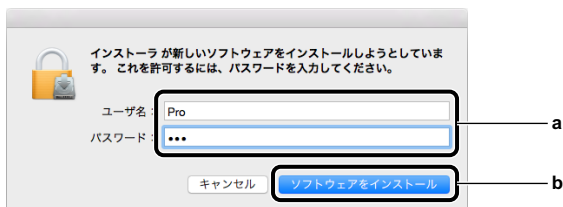
- ⑤ [同意する] をクリックします。



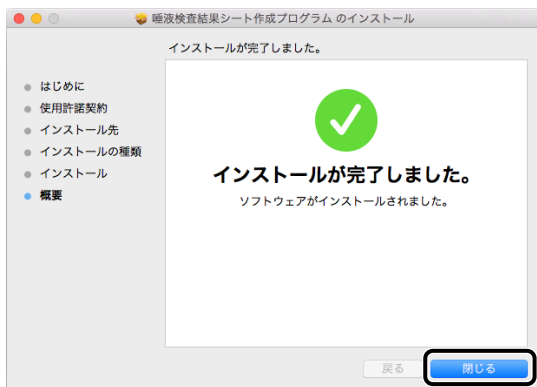
- ⑥ [インストール] をクリックします。



- ⑦ [ユーザ名] と [パスワード] を入力し (a)、[ソフトウェアをインストール] をクリックします (b)。
- ・ インストールが開始されます。



- ⑧ 以下の画面が表示されたら、[閉じる] をクリックします。



- ⑨ デスクトップに以下のショートカットアイコンが作成されていることを確認します。



- ⑩ USBメモリをパソコンから取りはずします。

→1-19ページ「1.5.3. 装置・パソコン・プリンタを接続する」に進みます。

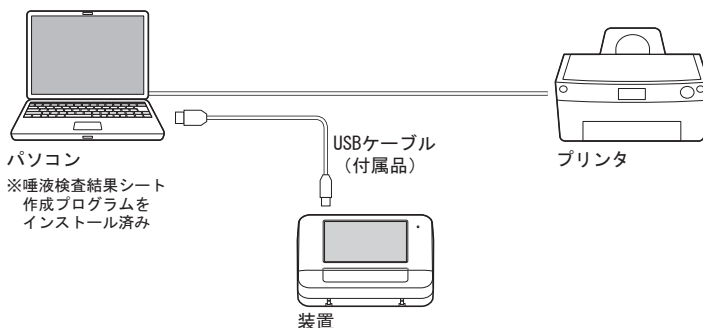
1.5.3 装置・パソコン・プリンタを接続する

1 接続する

- 1 付属のUSBケーブルを使用して、装置をパソコンに接続します。
 - ・パソコンとプリンタの接続については、お使いの各製品の説明書をお読みください。

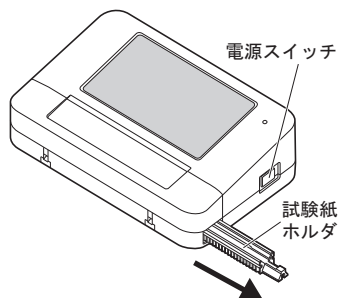
注記

必ず付属のUSBケーブルを使用してください。



2 装置の初期設定をする

- 1 パソコンで、唾液検査結果シート作成プログラムが起動していないことを確認します。
- 2 電源スイッチを長押しします。
 - ・「ピッ」と鳴って画面が点灯したら、指をはなします。
 - ・試験紙ホルダが出てきます。



- ・もう一度「ピッ」と鳴り、トップメニュー画面が表示されます。



- ③ 電源スイッチを長押しし、試験紙ホルダが動きだしたら、指をはなします。
- ・ 試験紙ホルダが収納されます。
 - ・ 画面が消灯し、電源が切れます。

注記

必ず、この時点で一度電源を切ってください。この操作により初期設定が完了します。

1.5.4 装置ソフトウェアの自動バージョンアップ

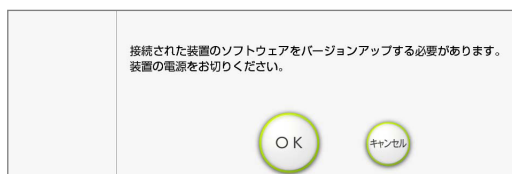


装置のソフトウェアをバージョンアップする必要がある場合には、唾液検査結果シート作成プログラムの画面にメッセージが表示されます。

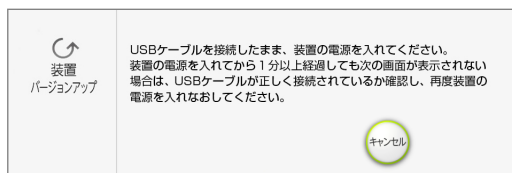
- ① パソコンと装置をUSBケーブルで接続した状態で、唾液検査結果シート作成プログラムを起動します。
- ② 装置の電源を入れます。この時に、パソコンに以下の画面が表示された場合は、手順④に進み装置のソフトウェアをバージョンアップしてください。

参考

バージョンアップの途中でエラーやトラブルが発生した場合は、唾液検査結果シート作成プログラム、装置を再起動して手順③から再度実施してください。



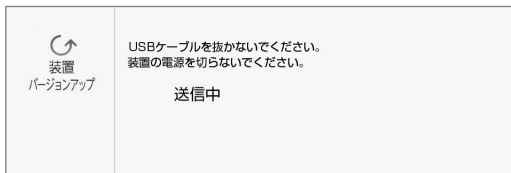
- ③ 装置の電源を切り、手順②のパソコンの画面で [OK] をクリックします。
- ④ パソコンに以下の画面が表示されたら、再度、装置の電源を入れます。



参考

装置の電源を入れてから1分以上、次の画面が表示されない場合、USBケーブルが正しく接続されているか確認し、再度装置の電源を入れなおしてください。

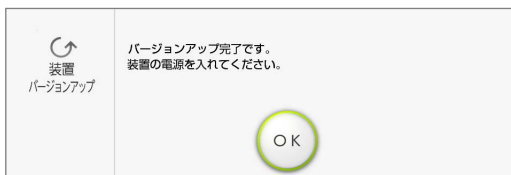
- ⑤ 自動的に以下の画面がパソコンに表示され、装置ソフトウェアのバージョンアップが始まります。



注記

バージョンアップ中は、USBケーブルを抜かないでください。また装置の電源を切らないでください。

- ⑥ バージョンアップが完了すると、パソコンに以下の画面が表示され、自動的に装置の電源が切れます。



- ⑦ 手順⑥のパソコンの画面で [OK] をクリックした後、再度、装置の電源を入れてください。パソコン、装置ともトップメニュー画面が表示されます。




第2章

測定操作

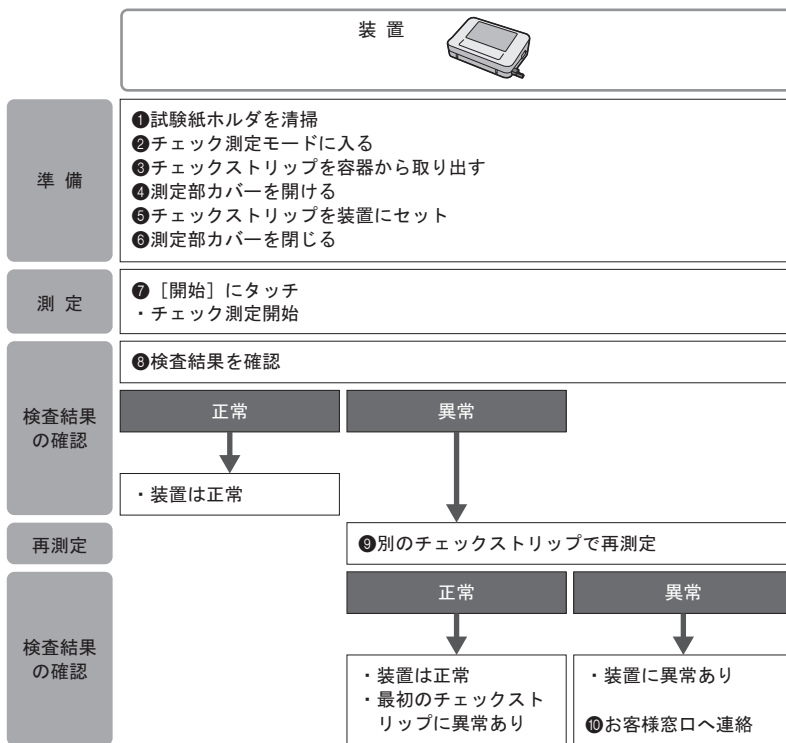
装置で試料を測定し、パソコンの唾液検査結果シート作成プログラムで結果シートを作成する方法について説明します。また、チェック測定の方法についても説明します。

2.1 操作の流れ

■測定操作 ※2-4ページ「2.3. 測定の準備」～「2.6. 結果シートの作成」、2-25ページ「2.8. 一日の終わりに」参照

	パソコン 	装置 	測定試料 	制限時間
1日のはじめに	①唾液検査結果シート作成プログラムを起動	②電源を入れる		
準備	④ [測定] をクリック ⑤ 患者情報を入力 ・カルテ番号 送信	③ [測定] にタッチ		
測定	受信 ←	⑩ すぐに [開始] にタッチ ↓ ⑪ 測定部カバーをあける	⑥ 洗口用水を紙コップに準備 ⑦ 測定試料を採取 ⑧ スポイトで吸引 ⑨ 試験紙に滴下	10秒以内
	受信 ←	⑫ 測定部カバーを閉める ・測定開始	滴下後5秒以内	
	受信 ←	⑬ 測定結果 送信 ⑭ 試験紙を取り出す	⑫ 余剰液をとる ⑬ 試験紙ホルダにセット	10秒 30秒
結果シート作成	⑯ 測定結果を確認 ⑰ 結果シートを選択 ⑱ コメントを選択			260秒
印刷	⑲ 結果シートを印刷			
1日の終わり		⑳ 試験紙ホルダを清掃 ㉑ 電源を切る		

■チェック測定操作 ※2-21ページ「2.7. チェック測定」参照



2.2 測定にあたっての注意事項

2.2.1 測定試料の取り扱い



- 測定試料の取り扱いには細心の注意を払ってください。本装置は測定試料に洗口吐出液を使用します。測定試料を取り扱うときは、病原微生物の感染を防ぐために保護手袋をつけてください。
- 測定試料をこぼした場合には、アルコール等でふき取り、使用済みのアルコール等は環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。
- 試薬や測定試料が目や皮膚に付着したり、口に入ったりしないように注意してください。誤って目や皮膚に付着したり口に入ったりした場合には、ただちに水で十分に洗浄するなどの応急措置をおこない、必要に応じて医師の手当てを受けてください。



- 飲食および歯磨きは測定の2時間前までに済ませてください。
- 洗口吐出液は採取後なるべく早く測定してください。



- 唾液検査は、洗口用水を口に含み、約10秒間軽くすすぎ、紙コップに吐き出すことができる方に実施してください。
- 洗口用水は精製水ですが飲み込まないでください。
- 測定試料は測定が正常におこなわれたことを確認するまで破棄しないでください。

2.2.2 試験紙の取り扱い



- 専用の試験紙をお使いください
本装置には、専用試験紙「シルハペーパー」を使用してください。
ご使用前にシルハペーパーに付属の添付文書をよくお読みください。
- 使用する前に確認してください
使用期限内の試験紙を使用してください。使用期限を過ぎている試験紙、または使用期限内であってもパッド部が変色している試験紙は使用しないでください。正しい測定結果が得られません。
- 試験紙は測定する直前に準備してください
試験紙は、アルミパックから取り出した後、10分以内に使用してください。必要以上の枚数を取り出して放置しておく、空気中の水分を吸収したり、ほこりが付着し、正しい測定結果が得られません。
- パッド部には触れないでください
試験紙のパッド部には触れないでください。素手で触れると皮脂が付着し、正しい測定結果が得られません。

2.3 測定の準備

2.3.1 唾液検査結果シート作成プログラムを起動する

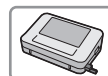


① パソコンで唾液検査結果シート作成プログラムを起動します。

- ・ トップメニュー画面が表示されます。



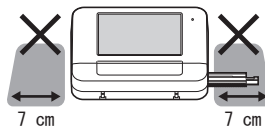
2.3.2 装置を始動する



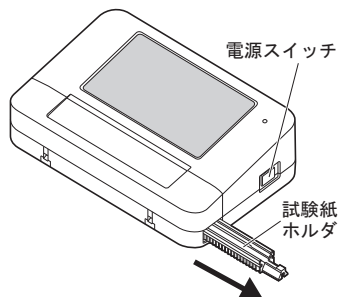
試験紙ホルダが移動する部分には手を触れないでください。けがを負うおそれがあります。

注記

装置の左右7 cm以内には何も置かないでください。
試験紙ホルダの移動の妨げになります。



- ① 電源スイッチを長押しします。
 - ・「ピッ」と鳴って画面が点灯したら、指をはなします。
 - ・試験紙ホルダが出てきます。
 - ・もう一度「ピッ」と鳴り、トップメニュー画面が表示されます。
 - ・装置のソフトウェアをバージョンアップするように促す画面がパソコンに表示された場合は、1-21ページ「1.5.4. 装置ソフトウェアの自動バージョンアップ」を参照し、ソフトウェアのバージョンアップを行ってください。



- ② [測定] にタッチします。



トップメニュー画面

- ③ 以下の画面が表示されるのを確認します。



入力待ち

→2-6ページ「2.3.3. 患者情報を入力する」に進みます。

- 参考** 手順②で [測定] にタッチしなくても、パソコンからカルテ番号を受信すると、自動的に手順③の測定画面に切り替わります。

2.3.3 患者情報を入力する



パソコンの唾液検査結果シート作成プログラムで、カルテ番号、患者の氏名などを入力します。

参考

初めてご使用になる場合は、あらかじめ医院名・医師名を登録してください。
医院名・医師名の登録：3-18ページ「3.6.1. 医院・医師の名称を登録する」参照

1 患者情報を入力する

- ① 唾液検査結果シート作成プログラムの [測定] をクリックします。



トップメニュー画面

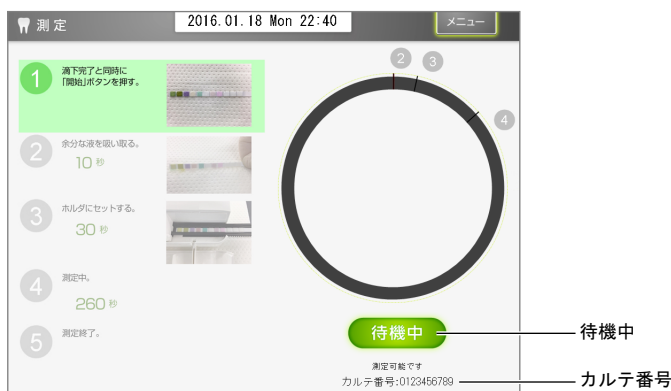
- ② 患者情報を入力し (a)、[OK] をクリックします (b)。



項目	内容
カルテ番号※	カルテ番号を入力します（半角30文字までの英数字）。
患者氏名	患者の姓と名を入力します。
生年月日/年齢/性別	患者の情報を入力します。
自由欄	コメントを入力します（全角・半角40文字まで）。
〔呼出し〕ボタン	〔カルテ番号〕または〔患者氏名〕を入力してからこのボタンをクリックすると、以前に登録した患者情報を自動で入力することができます。

※入力必須の項目

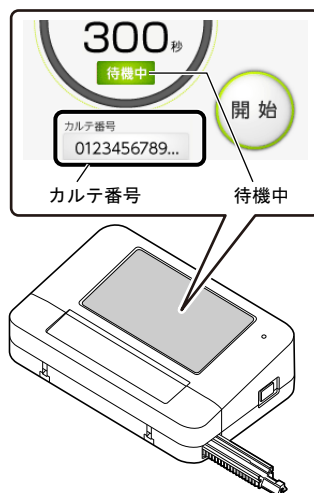
- ③ 以下の画面が表示されるのを確認します。



2 | 装置がカルテ番号を受信したことを確認する

- ① 装置が待機中になり、カルテ番号が表示されていることを確認します。

→2-8ページ「2.4.1. 測定試料を採取する」に進みます。



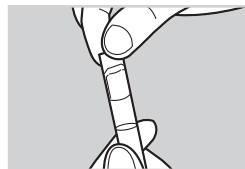
2.4 測定操作

2.4.1 測定試料を採取する

準備するもの：洗口用水（シルハペーパーに付属）、紙コップ（各自ご用意ください）

1 洗口用水を紙コップに入れる

- ① 洗口用水と紙コップを1つずつ準備します。
- ② 洗口用水のキャップをねじってはずします。

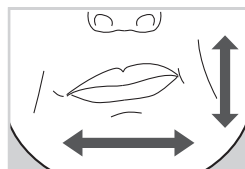


- ③ 全量を紙コップに入れます。

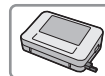


2 測定試料を採取する

- ① 紙コップの洗口用水を口に含みます。
- ② 口腔内全体にいき渡るように、約10秒間、軽くすすぎます。
- ③ 紙コップに吐き出します。



2.4.2 測定する



- 病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの測定試料、試験紙、紙コップ、スポイト、保護手袋は一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。



- 各手順の制限時間をお守りください。あらかじめ以下の手順をお読みになり、操作の流れを理解しておくことをお勧めします。
- 試験紙の取り扱いについては、シルハペーパーの添付文書を参照してください。
- スポイトは推奨品をご使用ください。
- 測定を開始する前に装置の温度表示を確認してください。20℃未満の場合は右図のように表示され、むし菌菌とアンモニアの測定結果が参考値となります。
- 測定中はUSBケーブルを抜かないでください。



制限時間の
カウント
ダウン



準備するもの：試験紙（シルハペーパー）、スポイト（上記〔重要〕参照）、ペーパータオル、保護手袋

1 必要なものを準備する

- ① ペーパータオルを1、2枚、机の上に広げます。
- ② アルミパックから試験紙を取り出し、ペーパータオルの上に置きます。

参考 アルミパックの開封側の角を少し折ると開けやすくなります。



- ③ スポイトを用意します。

2 測定試料をスポイトで吸引する

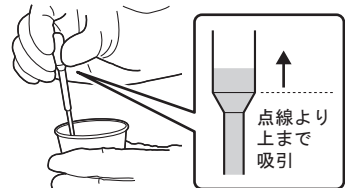
- ① 紙コップを回し、測定試料を泡立たない程度に軽く攪拌します。



- ② スポイトで測定試料を吸引します。

重要

- 気泡が入らないように注意してください。
- 必ず右図に示す位置まで吸引してください。量が少ないと滴下に時間がかかり、正しい測定結果が得られません。



注記

測定試料は測定が正常におこなわれたことを確認するまで破棄しないでください。

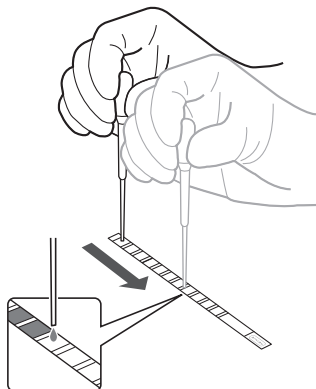
3 測定試料を試験紙に滴下する

10秒以内

- 1 試験紙の先端側から順に(右図矢印の順に)、各パッドの中央に1滴ずつ滴下します。

重要

- 全パッド(11か所)の滴下は10秒以内を目安におこなってください。滴下が遅れると測定結果が高値化するおそれがあります。
- スポイトの先端をパッドから離して1滴ずつ滴下してください。測定に適した量が滴下されないと、正しい測定結果を得られないおそれがあります。
- 滴下の完了後はすぐに手順4-①の操作をしてください。測定開始が遅れると測定結果が高値化するおそれがあります。



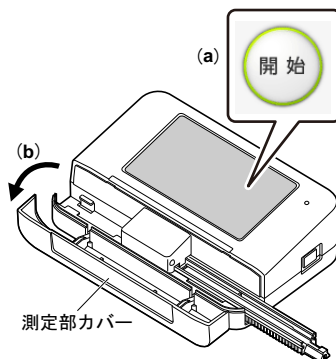
4 測定を開始する

滴下後5秒以内

- 1 滴下が完了したらすぐ(5秒以内)に[開始]にタッチします(a)。次に、測定部カバーを開けます(b)。
 - ・10秒のカウントダウンが開始されます。

参考

測定を中止するには
[中止]を長押しします。



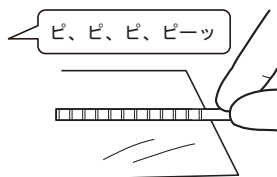
5 余剰液を吸い取る

10秒

- 1 10秒のカウントダウン中に(ブザー音が鳴り終わるまでに)、ペーパータオルの上で試験紙を傾けて、すべてのパッドの余剰液を吸い取ります。

参考

カウントダウンは残り3秒からブザー音が「ピ、ピ、ピ」と鳴りはじめ、0秒で「ピーッ」と鳴ります。



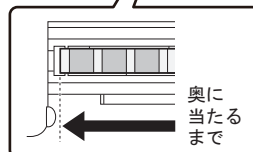
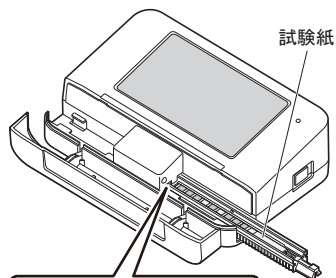
6 試験紙ホルダにセットする

30秒

- 1 試験紙を試験紙ホルダにセットします。
 - ・試験紙ホルダの溝に沿わせて、奥に当たるまで差し込みます。

重要

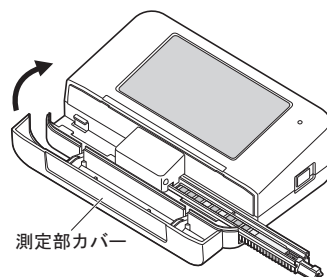
試験紙が試験紙ホルダの溝からずれていると、正しい測定結果が得られません。



- 2 測定部カバーを閉めます。

参考

試験紙ホルダが動き始めるまでに試験紙をセットできなかったとき【E-100】が発生します。[OK] にタッチして、2-6ページ「2.3.3. 患者情報を入力する」手順④からやりなおしてください。



7 測定が開始すると

260秒

- ・測定が自動で開始され、完了までの残り時間が表示されます。



試験紙ホルダが移動しますので、測定が完了するまで装置に手を近づけないでください。けがを負うおそれがあります。残り時間「約260秒」と「約20秒」の2回移動します。



残り時間

測定中

参考

測定を中止するには
[中止]を長押しします。

8 測定が完了したら

●装置

- ・ブザー音「ピピピー」が鳴り、[入力待ち]の画面にもどります。
- ・測定結果がパソコンへ送信されます。

●パソコン

- ・検査結果が表示されます(2-14ページ「2.5. 検査結果の見かた」参照)。

① 装置の測定部カバーを開け、試験紙を取り出します。

② 測定部カバーを閉じます。

→2-16ページ「2.6. 結果シートの作成」に進みます。

2.5 検査結果の見かた

測定が完了すると、パソコンに検査結果が表示されます。結果シートの種類は「タイプA」「タイプB」「タイプC」の3種類から選択できます。



重要

測定温度が20℃未満の検査結果は、温度が青色で表示され、むし菌菌とアンモニアの検査結果が参考値となります。

■タイプA（レーダーチャートを重ねて比較）

- ・過去の検査結果（1件まで）と比較できます。
- ・6項目のコメントと総合コメントを入力できます。

[タイプA] を選択

検査結果

検査結果チャート

■タイプB（レーダーチャートによる比較）

- ・過去の検査結果（2件まで）と比較できます。
- ・6項目のコメントと総合コメントを入力できます。

[タイプB] を選択

検査結果 ※右端が最新の検査結果

検査結果チャート

■タイプC（棒グラフによる比較）

- ・過去の検査結果（2件まで）と比較できます。
- ・総合コメントを入力できます。

[タイプC]
を選択

検査結果
※各棒グラフの
右端が最新の
検査結果

検査結果
チャート

結果シート作成 2018.11.27 Tue 16:51

結果シート選択
 タイプA
 タイプB
 タイプC

コメント入力

むし歯菌 酸性度 緩衝能

たんぱく質 白血球 アンモニア

検査結果チャート

2018-11-27 11:14 26°C
 2018-09-21 11:57 25°C
 2018-07-17 09:45 25°C

総合コメント

医院名 A病院 医師名 X木Y郎

次へ

2.6 結果シートの作成

2.6.1 結果シートを作成する



結果シートにコメント、医院名、医師名を入力します。

例) タイプA

参考 中断するには
[メニュー] をクリックします。印刷されていない結果シートは「未作成」として保存されます。

① [結果シート選択] で、結果シートの種類を選択します。

- ・ 2-19ページ「2.6.3. 結果シートの印刷例」参照

② [コメント入力] で、コメントを設定します。

項目	内容										
むし歯菌 酸酸性度 緩衝能 白血球 タンパク質 アンモニア	<p>タイプAとタイプBの場合、各項目の [▼] をクリックして、検査結果に応じてコメントを選択します。[▼] をクリックして、空白のコメント欄の中央付近を2回クリックすると自由にコメントを入力できます (全角・半角65文字まで)。</p> <p>例)</p> <table border="1"> <tr> <td>酸酸性度</td> <td>29</td> <td>低め</td> <td>唾液の酸性度が高いと、むし歯になりやすいことが知られています。</td> <td>[▼]</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>平均値: 43</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>検査結果 コメント クリックして、コメントを選択</p>	酸酸性度	29	低め	唾液の酸性度が高いと、むし歯になりやすいことが知られています。	[▼]			平均値: 43		
酸酸性度	29	低め	唾液の酸性度が高いと、むし歯になりやすいことが知られています。	[▼]							
		平均値: 43									
総合コメント	[▼] をクリックして、検査結果に応じてコメントを選択します。[▼] をクリックして、空白のコメント欄の中央付近を2回クリックすると自由にコメントを入力できます (全角・半角140文字まで)。										
医院名/医師名※	<p>医院名と医師名を入力します。</p> <p>[▼] をクリックして、一覧から選択することもできます。</p>										

※入力必須の項目

参考

コメントの作成：3-18ページ「3.6. コメントの設定」参照

医院名・医師名の登録：3-18ページ「3.6.1. 医院・医師の名称を登録する」参照

- ③ [過去の結果選択] から、比較したい過去の検査結果の日付を選択します。
 - ・タイプA：レーダーチャートに重ねて比較（1件のみ）
 - タイプB：レーダーチャートによる比較（2件まで）
 - タイプC：棒グラフによる比較（2件まで）

- ④ [次へ] をクリックします。
 - ・印刷するには
→2-18ページ「2.6.2. 結果シートを印刷する」に進みます。

2.6.2 結果シートを印刷する



結果シートを印刷します。

参考

プリンタにA4の用紙をセットしてください。

例) [タイプA] を選択した場合



① 結果シートのプレビューを確認します。

参考

●拡大表示するには
シートをクリックすると拡大表示できます。元の表示にもどすには「-」をクリックします。

●結果シートの修正が必要なときは
[戻る] をクリックします。

●カルテ番号、患者氏名を修正するには
[編集] をクリックします。[患者氏名] 画面で、カルテ番号または患者氏名を修正し、[OK] をクリックします。

② [印刷] をクリックします。

- ・印刷が開始されます。

参考

●一日の測定を終了するには
2-25ページ「2. 8. 一日の終わりに」に進みます。

●続けて測定するには
[メニュー] をクリックしてトップメニュー画面にもどり、2-6ページ「2. 3. 3. 患者情報を入力する」に進みます。

2.6.3 結果シートの印刷例

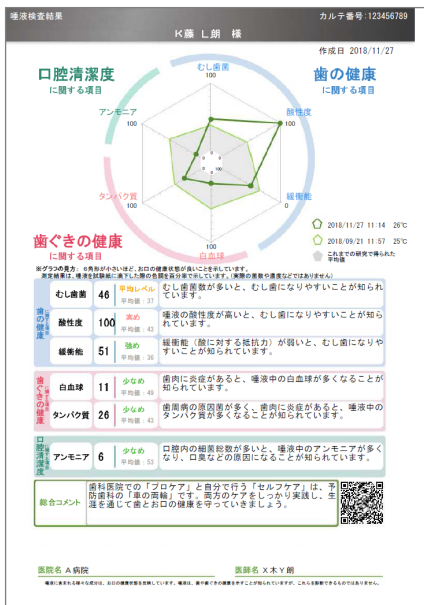


測定温度が20℃未満の検査結果は、温度が青色で印字され、むし歯菌とアンモニアの検査結果が参考値となります。

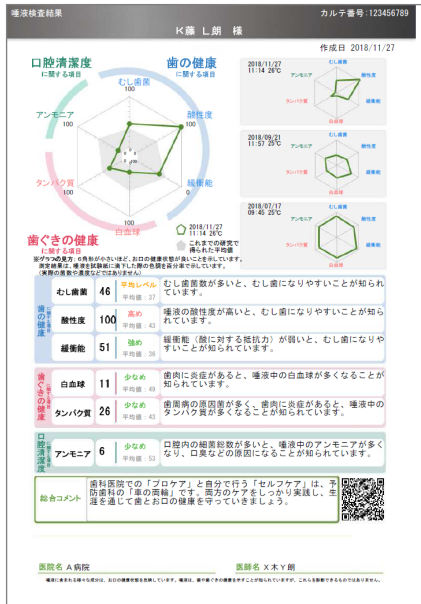


結果シートはすべてA4サイズで印刷されます。

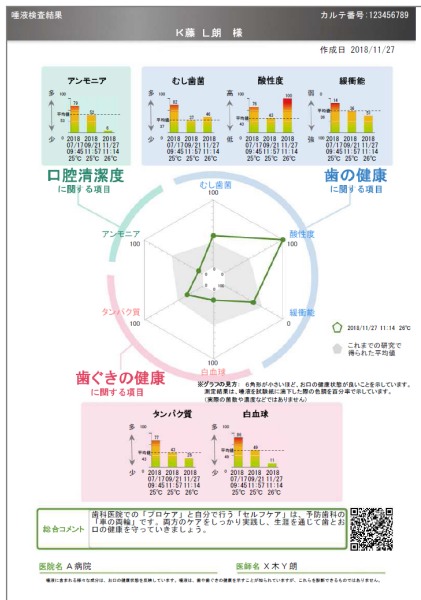
■タイプA (スタンダード)



■タイプB（レーダーチャートによる比較）

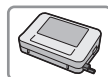


■タイプC（棒グラフによる比較）



2.7 チェック測定

検査結果がおかしいと思われるときはチェック測定をおこない、装置の状態を確認してください。



準備するもの：チェックストリップ

注記

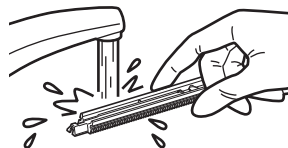
再送信の前に、パソコンで唾液検査結果シート作成プログラムを起動して、装置と通信状態にしてください(2-4ページ「2.3.1. 唾液検査結果シート作成プログラムを起動する」～「2.3.2. 装置を始動する」手順①参照)。

1 試験紙ホルダを清掃する

- 1 試験紙ホルダを清掃します。
 - ・ 4-2ページ「4.2.1. 試験紙ホルダを清掃する」参照

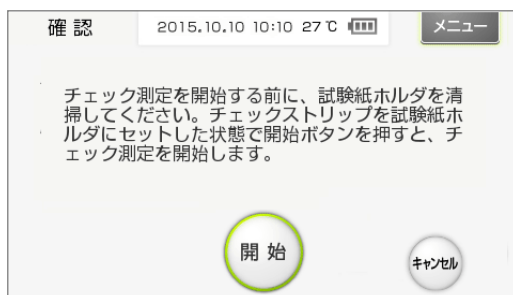
注記

試験紙ホルダの汚れが付着するとチェックストリップが使用できなくなります。



2 チェック測定モードに入る

- 1 トップメニュー画面から [メンテナンス] → [確認] の順にタッチします。
 - ・ 以下の画面が表示されます。



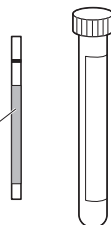
3 | チェックストリップを準備する

- ① 容器からチェックストリップを1本取り出します。
 - ・ 灰色のチェックストリップが2本入っています。どちらか1本を使用してください。

重要

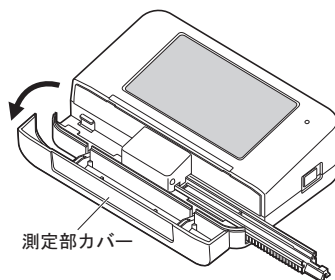
チェックストリップの表面には触れないでください。皮脂などが付着すると、正しい検査結果が得られません。

チェック
ストリップ



4 | チェックストリップをセットする

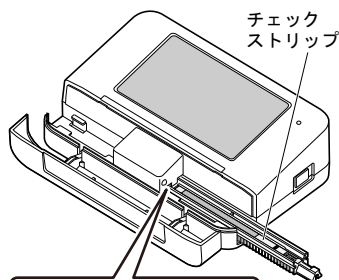
- ① 測定部カバーを開けます。



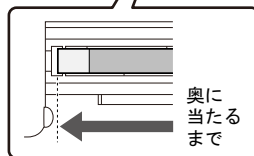
- ② チェックストリップを試験紙ホルダにセットします。
 - ・ 試験紙ホルダの溝に沿わせて、奥に当たるまで差し込みます。

重要

チェックストリップが試験紙ホルダの溝からずれていると、正しい検査結果が得られません。

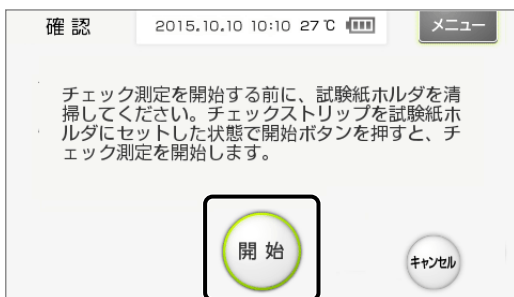


- ③ 測定部カバーを閉じます。



5 | チェック測定を開始する

- ① [開始] にタッチします。



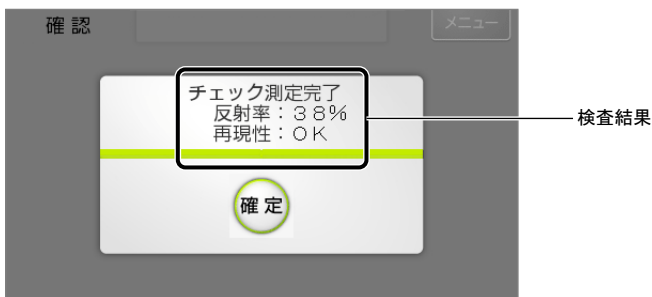
- ・測定が開始され、「チェック測定中」と表示されます。

参考 測定を中止するには
[中止] にタッチします。

6 | 検査結果を確認する

- ・測定が終わると、「ピッ」と鳴って検査結果が表示されます。

- ① 検査結果を確認します。
 - ・[反射率] の正常値の範囲は、チェックストリップの容器に貼られているラベルに記載されています。



- [反射率]: 範囲内、[再現性]: OK
装置は正常です。
[確定] にタッチしてトップメニュー画面にもどります。
これでチェック測定は完了です。
- [反射率]: 範囲外、または [再現性]: NG
装置またはチェックストリップのいずれかに異常があります。
[確定] にタッチして、手順7へ進みます。

7 | 再度、チェック測定をする（必要なとき）

〔反射率〕が範囲外、または〔再現性〕がNGのときは、以下の手順に従ってください。

- ① 容器に残っている方のチェックストリップを使用して、再度チェック測定をします。
 - ・ 手順2～手順5参照

- ② 2回目の検査結果を確認します。

- 〔反射率〕：範囲内、〔再現性〕：OK

装置は正常です。1回目のチェック測定で使用したチェックストリップに異常があります。今後、このチェックストリップは使用しないでください。

- 〔反射率〕：範囲外、または〔再現性〕：NG

装置に異常があります。お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。

- ③ 〔確定〕にタッチします。

- ・ トップメニュー画面にもどります。

2.8 一日の終わりに

一日の検査がすべて終了したら、以下の手順に従ってください。

- ① 試験紙ホルダを清掃します。
 - ・ 4-2ページ「4.2.1. 試験紙ホルダを清掃する」参照

- ② 装置の電源スイッチを長押しします。
 - ・ 試験紙ホルダが収納されます。
 - ・ 画面が消灯し、電源が切れます。

- ③ 唾液検査結果シート作成プログラムを終了します。
 - ・ [メニュー] をクリックして、トップメニュー画面にもどります。
 - ・ トップメニュー画面の [×] をクリックします。
 - ・ 「終了しますか？」と表示されたら、[OK] をクリックします。

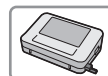
- ④ パソコンの電源を切ります。
 - ・ お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

第3章 補助操作

装置の設定および唾液検査結果シート作成プログラムの設定について説明します。

3.1 補助操作の一覧

3.1.1 装置の補助操作



トップメニュー画面



ボタン	項目	内容	参照ページ	
設定	日付	日付と時刻を設定します。	3-4	
	番号表示	装置に表示するカルテ番号の桁を設定します。	3-6	
	その他	音量	ブザー音の音量を設定します。	3-7
		明るさ	画面の明るさを設定します。	
	セット方向	試験紙ホルダのセット方向を設定します。	3-8	
履歴		最新の測定結果をパソコンへ再送信します。	3-11	

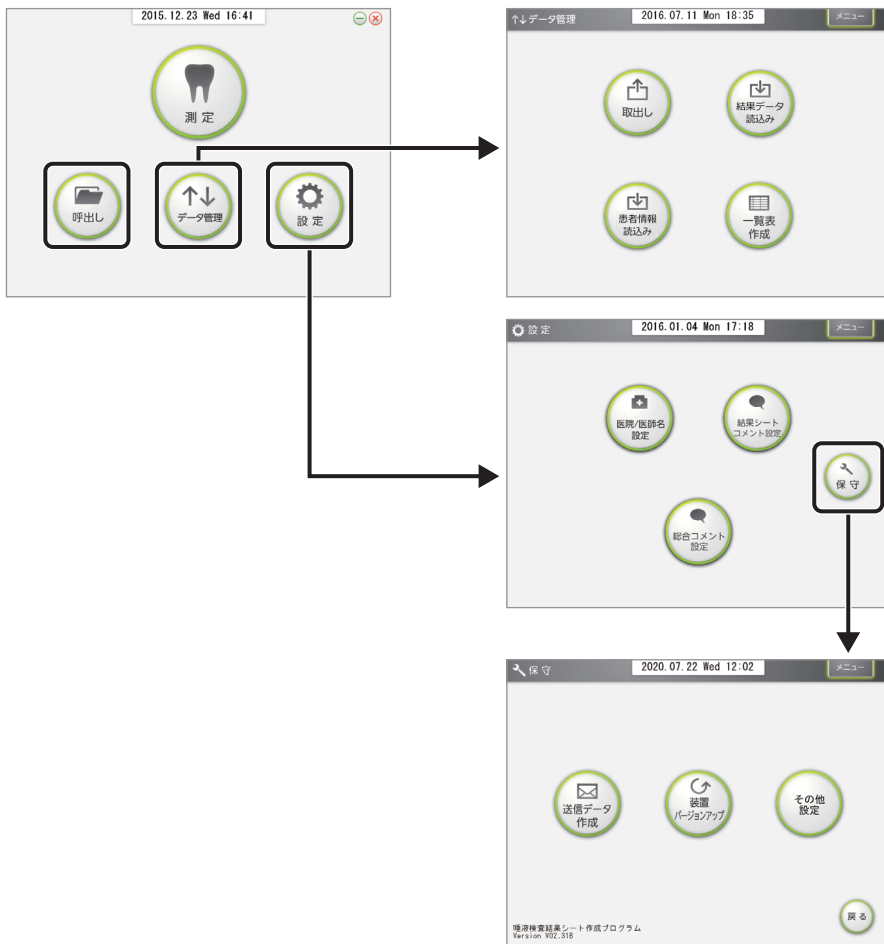
3.1.2 唾液検査結果シート作成プログラムの補助操作



参考

唾液検査結果シート作成プログラムは、装置の電源を切った状態でも操作できます。

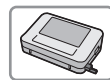
トップメニュー画面



ボタン		内容	参照ページ	
呼び出し		患者の検査結果を検索します。呼び出した未作成の結果シートを編集します。	3-12	
データ管理	取出し	保存されている結果データをまとめてエクスポートします。	3-14	
	結果データ読み込み	他のパソコンからエクスポートした結果データをインポートします。	3-15	
	患者情報読み込み	患者情報のデータ(CSV形式)をインポートします。	3-16	
	一覧表作成	保存されている結果データの一覧表を作成します。	3-17	
設定	医院/医師名設定		3-18	
	結果シートコメント設定		3-20	
	総合コメント設定		3-22	
	保守	送信データ作成	販売元に測定データを送信するときに使用します。	—
		装置バージョンアップ	装置のソフトウェアをバージョンアップします。	4-7
		その他設定	他社システムとの連携設定などに使用します。	—

3.2 装置の設定

3.2.1 日付・時刻を設定する



装置をパソコンと接続せず、装置だけで使用する場合は、以下の手順にしたがって日付と時刻を設定してください。

参考 装置をパソコンに接続している場合はパソコンの日時設定を自動受信するため、以下の設定は無効になります。

① トップメニュー画面の [設定] にタッチします。

② 変更したい数値にタッチします。

参考 以下の画面が表示されていないときは、[日付] タブにタッチします。



③ [↑] / [↓] またはテンキーで数値を入力し、[確定] にタッチします。



参考 [削除]: 入力した数値を1桁ずつ削除します。
[キャンセル]: 入力した数値を取り消して、前の画面にもどります。

④ 手順②、③を繰り返して、日付と時刻をすべて正しく設定します。

⑤ [メニュー] にタッチします。

- ・ トップメニュー画面にもどります。

参考

トップメニュー画面にもどると、設定が日付・時刻表示に反映されます。

3.2.2 カルテ番号の表示桁を設定する



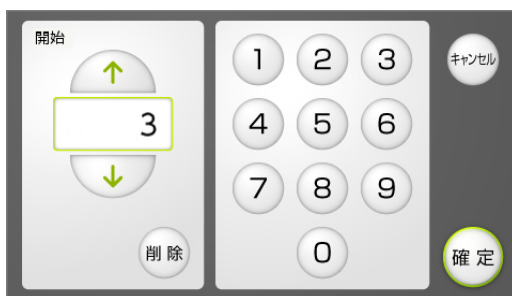
施設で使用しているカルテ番号のうち、装置に表示する桁の範囲（開始桁と桁数）を設定します。

- 1 トップメニュー画面の「設定」にタッチします。
- 2 「番号表示」タブにタッチします。
- 3 変更したい数値にタッチします。



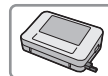
項目	内容
開始桁	装置に表示する先頭の桁
表示桁数	「開始桁」から数えた桁の数（1～13桁）

- 4 [↑] / [↓] またはテンキーで数値を入力し、「確定」にタッチします。



- 5 手順③、④を繰り返して、開始桁と表示桁数を設定します。
- 6 「メニュー」にタッチします。
 - ・ トップメニュー画面にもどります。

3.2.3 音量・画面の明るさを調整する



ブザー音の音量および画面の明るさを調整します。



- ① トップメニュー画面の [設定] にタッチします。
- ② [その他] タブにタッチします。
- ③ [◀] / [▶] にタッチして、音量・明るさを変更します。
 - ・ 右側に現在の設定が表示されます。

項目	内容
音量	無音、レベル1～4。ボタンにタッチするたびに、選択した音量のブザー音が鳴ります。
明るさ	レベル0～4。

- ④ [メニュー] にタッチします。
 - ・ トップメニュー画面にもどります。

3.2.4 試験紙のセット方向を変更する



この装置は出荷時に、試験紙を右側からセットするように設定されています。左利きの方がご使用になる場合は、試験紙を左側からセットできるように設定しておく便利です。



病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。

1 セット方向の設定を変更する

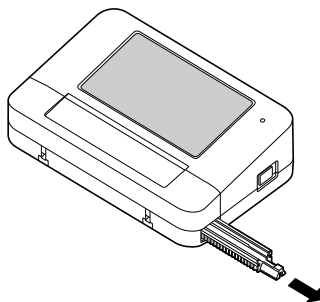
- 1 トップメニュー画面の [設定] にタッチします。
- 2 [その他] タブにタッチします。
- 3 [左置き] にタッチします。
- 4 [実行] にタッチします。



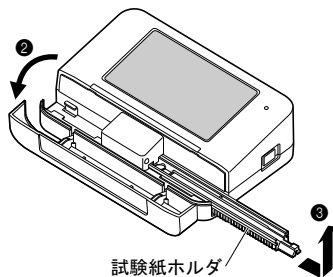
2 試験紙ホルダを取りはずす

- ① [開始] にタッチします。
 - ・ 試験紙ホルダが移動し、ロックがはずれます。

開始ボタンを押すと、試験紙ホルダが出てきます。試験紙ホルダを取りはずしてください。

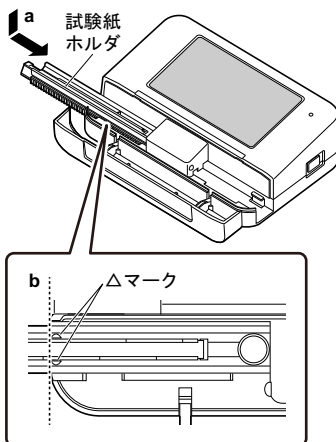


- ② 測定部カバーを開けます。
- ③ 試験紙ホルダを右側にスライドさせて取り出します。



3 | 試験紙ホルダを逆向きに取りつける

- ① 試験紙ホルダの白板が右側にくるように持ち、装置の左側から取りつけます。
 - ・ 試験紙ホルダを装置のガイドに沿って差し込み (a)、試験紙ホルダの△マークが装置の端より少し入るくらいまで軽く押し込みます (b)。

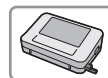


- ② [開始] にタッチします。
 - ・ 試験紙ホルダが移動し、ロックされます。
 - ・ トップメニュー画面にもどります。
- ③ 測定部カバーを閉じます。

試験紙ホルダの白板が右側にくるように向けて左側から取りつけます。試験紙ホルダの△マークが装置の端より少し入るくらいまで軽く押し込みます。



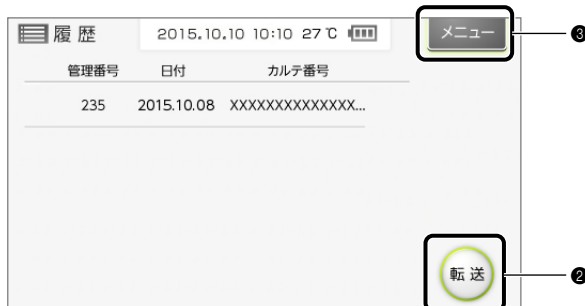
3.3.1 最新の測定結果をパソコンへ再送信する



最後に得られた測定結果をパソコンへ再送信することができます。

注記

再送信の前に、パソコンで唾液検査結果シート作成プログラムを起動して装置と通信状態にしてください（2-4ページ「2.3.1. 唾液検査結果シート作成プログラムを起動する」～「2.3.2. 装置を始動する」手順①参照）。



- ① トップメニュー画面の [履歴] にタッチします。
- ② カルテ番号等を確認し、[転送] にタッチします。
 - ・最新の測定結果が送信されます。
- ③ [メニュー] にタッチします。
 - ・トップメニュー画面にもどります。
- ④ 必要に応じて、パソコンの唾液検査結果シート作成プログラムで、受信した測定結果の結果シートを作成します。
 - ・3-12ページ「3.4. 検査結果の呼び出し」参照

3.4 検査結果の呼び出し

3.4.1 検査結果を呼び出す



特定の患者の検査結果を検索し、一覧で表示することができます。



- 1 トップメニュー画面の [呼出し] をクリックします。
- 2 患者を指定します。
 - ・ [カルテ番号] [姓] [名] のいずれかに情報を入力します。
 - ・ カルテ番号は、[▼] をクリックして、一覧から選択することもできます。
- 3 [呼出し] をクリックします。
 - ・ 該当する患者の検査結果が表示されます。

参考

「[W-304] 該当する検査履歴がありません」と表示された場合
[OK] をクリックすると、ポップアップウィンドウが閉じます。

3.4.2 未作成の結果シートを編集する



「未作成」の結果シートを開いて、編集することができます。未作成の結果シートとは、測定後に印刷せずに保存された結果シートです。

- ① 検査結果を呼び出します。
 - ・ 3-12ページ「3.4.1. 検査結果を呼び出す」参照
- ② 編集する結果シートにチェックマークをつけます。

選択	測定日時	シート印刷	自由欄
<input type="checkbox"/>	2015.04.06 12:48	-	
<input checked="" type="checkbox"/>	2015.04.06 12:29	-	
<input type="checkbox"/>	2015.04.06 11:20	済	
<input type="checkbox"/>	2015.04.06 04:47	-	
<input type="checkbox"/>	2015.04.06 03:25	済	

[-] : 結果シートが未作成
[済] : 作成済み (印刷済み)

- ③ 画面右下の [編集] をクリックします。
 - ・ 結果シートが表示されます。
- ④ 結果シートを編集します。
 - ・ 2-16ページ「2.6. 結果シートの作成」参照

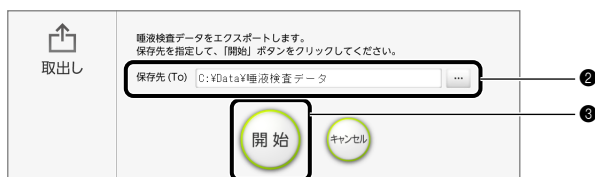
3.5 結果データの操作

3.5.1 結果データをエクスポートする



パソコンに保存されている結果データをまとめてエクスポートします。このデータを他のパソコンにインポートすることで、患者の検査結果などのデータ、医院名、医師名、コメントなどをそのまま利用することができます。

参考 結果データのインポート：3-15ページ「3.5.2. 結果データをインポートする」参照



① トップメニュー画面から [データ管理] → [取出し] の順にクリックします。

② [保存先 (To)] に、データの保存先を指定します。

参考 フォルダの一覧から選択するには [...] をクリックします。[フォルダの参照] 画面で保存先のフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

③ [開始] をクリックします。

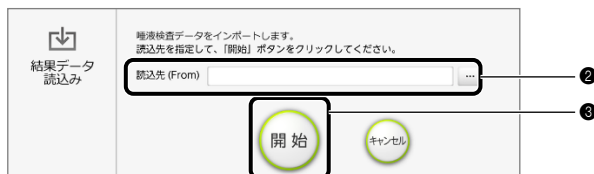
④ 「エクスポートは成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
・ これでエクスポートは完了です。

参考 エクスポートされた結果データは、[唾液検査結果データ (年月日)] フォルダに保存されます。

3.5.2 結果データをインポートする



結果データをインポートします。他のパソコンからエクスポートしたデータをインポートすることで、入力済みの医院名、医師名、コメントなどを流用することができます。



- ① トップメニュー画面から [データ管理] → [結果データ読み込み] の順にクリックします。
- ② [読み先 (From)] に、エクスポートファイルが保存されているフォルダー（名称は [唾液検査結果データ (年月日)]）を指定します。

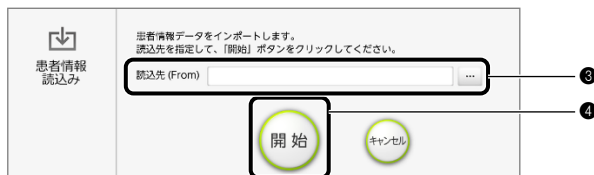
参考 フォルダの一覧から選択するには […] をクリックします。[フォルダの参照] 画面でフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

- ③ [開始] をクリックします。
- ④ 「インポートは成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
 - ・ これでインポートは完了です。

3.5.3 患者情報をインポートする



患者情報のデータ（CSV形式）をインポートすることができます。多数の患者情報をまとめて入力したいときに便利です。



- 1 患者情報のファイル（CSV形式）を準備します。

参考

テキストエディタ等で作成する場合

患者情報を以下のように入力し、CSV形式で保存します。

例) 123456, K田, M子, 2000/1/1, F, ○○○○ [改行]
123789, J川, N男, 2001/2/3, M, ○○○○ [改行]

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

各項目（①～⑥）は半角のカンマ「,」で区切ります。

- ①カルテ番号：半角30文字までの英数字（入力必須）
- ②患者の姓：全角・半角15文字まで
- ③患者の名：全角・半角15文字まで
- ④生年月日：半角数字 西暦/月/日
(半角のスラッシュ「/」で区切る)
- ⑤性別：半角英字1文字 M（男性）またはF（女性）
- ⑥コメント：全角・半角40文字まで

- 2 トップメニュー画面から [データ管理] → [患者情報読込み] の順にクリックします。
- 3 [読込先 (From)] に、手順①で作成した患者情報のファイル（CSV形式）を指定します。

参考

ファイルの一覧から選択するには

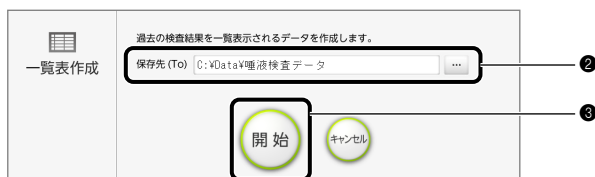
[...] をクリックします。[開く] 画面でファイルを選択し、[OK] をクリックします。

- 4 [開始] をクリックします。
- 5 「インポートは成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
 - ・これでインポートは完了です。

3.5.4 結果データの一覧表を作成する



パソコンに保存されている結果データの一覧表を作成し、「検査結果一覧」ファイルに保存します。



① トップメニュー画面から [データ管理] → [一覧表作成] の順にクリックします。

② [保存先 (To)] に、一覧表のファイルの保存先を指定します。

参考 フォルダの一覧から選択するには
[...] をクリックします。[フォルダの参照] 画面でフォルダを選択し、[OK] をクリックします。

③ [開始] をクリックします。

④ 「検査結果一覧データが作成されました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
・ これで一覧表の作成は完了です。

3.6 コメントの設定

3.6.1 病院・医師の名称を登録する



病院名と医師名を登録します。登録した名称は、結果シートを作成するときに一覧から選択できるようになり、結果シートに表示・印刷されます。

※はじめは [+] のみが表示されます。

① トップメニュー画面から [設定] → [医院/医師名設定] の順にクリックします。

② [医院名] タブの [+] をクリックします。
・ 空白の入力欄が表示されます。

参考 既存の医院名を編集するには
編集したい入力欄をクリックし、手順④に進みます。

③ 空白の入力欄をクリックします。

④ 左側にチェックマークが表示されたら、もう一度、入力欄をクリックします。
・ カーソルが表示されます。

⑤ 医院名を入力します（全角・半角30文字まで）。
・ 10件まで入力できます。

参考 [✓] : 結果シートに初期値として表示したい医院名にチェックマークをつけます。いずれの医院名にもチェックマークをつけない場合、初期値は空白になります。
[×] : 医院名を削除します。

- ⑥ [医師名] タブをクリックし、医師名を入力します（全角・半角30文字まで）。
 - ・ 手順②～⑤参照
- ⑦ [OK] をクリックします。
- ⑧ 「更新が成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
 - ・ これで登録は完了です。

3.6.2 結果シートのコメントを作成する



結果シートの各検査結果欄につけるコメントを作成します。ここで作成したコメントは、結果シートの作成時に一覧から選択できるようになります。新しいコメントを追加することも、あらかじめ設定されているコメントを編集することもできます。



- 1 トップメニュー画面から [設定] → [結果シートコメント設定] の順にクリックします。
- 2 コメントを作成したい測定項目のタブをクリックします。
- 3 検査結果の表下にある [+] をクリックします。
 - ・ 空白の入力欄が表示されます。

参考 既存のコメントを編集するには
編集したい入力欄をクリックし、手順⑤に進みます。

注記 あらかじめ設定されているコメントを編集すると、元にもどせません。

- 4 空白の入力欄をクリックします。
- 5 左側にチェックマークが表示されたら、もう一度、入力欄をクリックします。
 - ・ カーソルが表示されます。
- 6 コメントを入力します (全角・半角65文字まで)。
 - ・ 10件まで設定できます。

参考 [✓] : 結果シートに初期値として表示するコメントにチェックマークをつけます。どのコメントにもチェックマークをつけない場合、初期値は空白になります。
[×] : コメントを削除します。

- ⑦ 必要に応じて、他の測定項目のタブをクリックし、コメントを入力します。
 - ・ 手順②～⑥参照

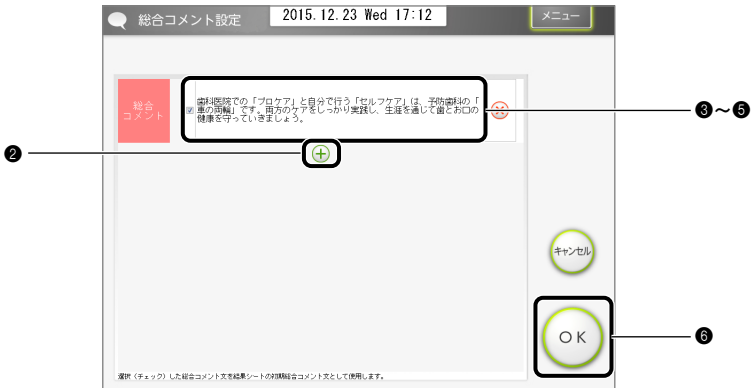
- ⑧ [OK] をクリックします。

- ⑨ 「更新が成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。
 - ・ これでコメントの作成は完了です。

3.6.3 総合コメントを作成する



結果シートの総合コメント欄につけるコメントを作成します。ここで作成したコメントは、結果シートの作成時に一覧から選択できるようになります。新しいコメントを追加することも、あらかじめ設定されているコメントを編集することもできます。



- 1 トップメニュー画面から [設定] → [総合コメント設定] の順にクリックします。
- 2 表下にある [+] をクリックします。
 - ・ 空白の入力欄が表示されます。

参考 既存のコメントを編集するには
編集したい入力欄をクリックし、手順④に進みます。

注記 あらかじめ設定されているコメントを編集すると、元にもどせません。

- 3 空白の入力欄をクリックします。
- 4 左側にチェックマークが表示されたら、もう一度、入力欄をクリックします。
 - ・ カーソルが表示されます。
- 5 コメントを入力します（全角・半角140文字まで）。
 - ・ 10件まで設定できます。

参考 [✓] : 結果シートに初期値として表示するコメントにチェックマークをつけます。どのコメントにもチェックマークをつけない場合、初期値は空白になります。
[×] : コメントを削除します。

⑥ [OK] をクリックします。

⑦ 「更新が成功しました。」と表示されたら、[OK] をクリックします。

- ・ これでコメントの作成は完了です。

装置の清掃およびバージョンアップの方法について説明します。

4.1 お手入れの時期

お手入れが必要な箇所とその時期は以下のとおりです。この表を参考に定期的にお手入れをしてください。



- 下の表で **感染の危険** のついている項目は、病原微生物の感染を防ぐために保護手袋をつけてください。
- 試験紙、清掃用具、保護手袋などは、一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

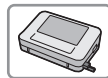
警告	お手入れ	時期	参照ページ
感染の危険	試験紙ホルダの清掃	毎日	4-2
感染の危険	測定部の清掃	【E-101】または【T-203】が発生したとき	4-5
	駆動速度の調整	試験紙ホルダと測定部を清掃しても、【E-101】または【T-203】が発生する場合	4-6
	装置バージョンアップ	必要に応じて	4-7

4.2 お手入れ方法



本装置のお手入れで、アルコールを使用することがあります。アルコールは非常に可燃性が高いため、使用の際は必ず、火・電氣的スパークなどが生じる場所から遠ざけて慎重に取り扱ってください。また、十分に換気した部屋で使用してください。

4.2.1 試験紙ホルダを清掃する



1日の測定がすべて終了したら、試験紙ホルダを清掃してください。ここでは試験紙ホルダのセット方向が「右置き」に設定されている状態（初期設定）を例に説明しています。

参考

試験紙セット方向の変更：3-8ページ「3.2.4. 試験紙のセット方向を変更する」参照

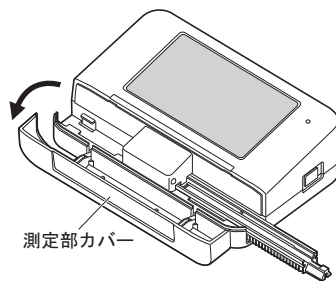


- 病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの清掃用具、保護手袋は一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

準備するもの：中性洗剤、アルコール、やわらかい布、保護手袋

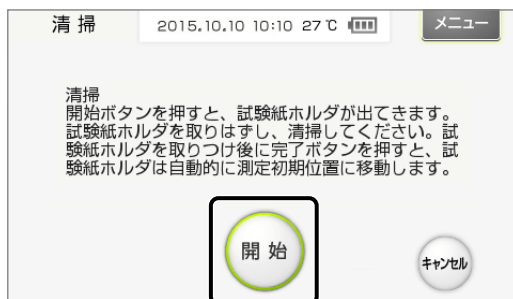
1 試験紙ホルダを取りはずす

- 1 測定部カバーを開けます。



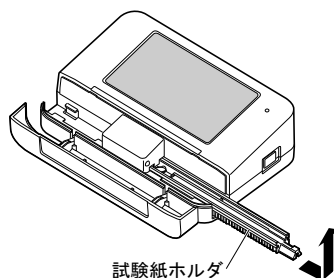
- 2 装置のトップメニュー画面から [メンテナンス] → [清掃] の順にタッチします。

- ③ [開始] にタッチします。



- ・ 試験紙ホルダが移動し、ロックがはずれます。

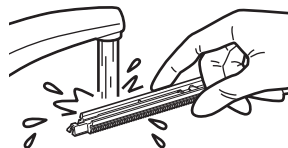
- ④ 試験紙ホルダをスライドさせて取りはずします。



2 | 試験紙ホルダを洗浄する

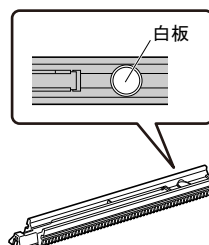
- ① 試験紙ホルダを洗浄します。

- ・ 中性洗剤で洗浄します。
- ・ 次に、水道水で表面の汚れをきれいに洗い落とします。
- ・ 最後に、やわらかい布で水分をふき取り、十分に乾燥させます。

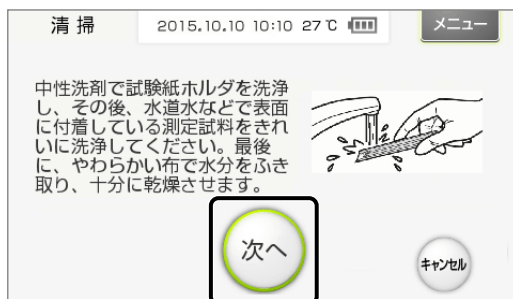


- ② 白板を清掃します。

- ・ 水またはアルコールで湿らせたやわらかい布で、汚れをきれいにふき取ります。

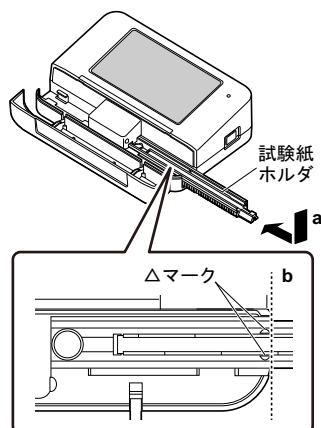


- ③ [次へ] にタッチします。

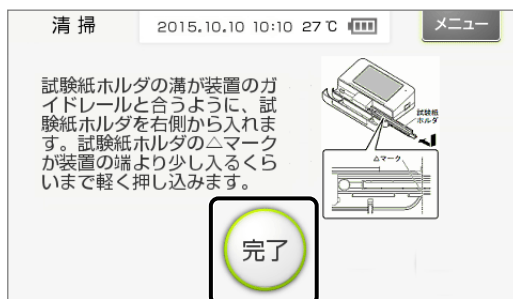


3 試験紙ホルダを取りつける

- ① 試験紙ホルダの白板が左側にくるように持ち、装置の右側から取りつけます。
- 試験紙ホルダを装置のガイドに沿って差し込み (a)、試験紙ホルダの△マークが装置の端より少し入るくらいまで軽く押し込みます (b)。



- ② [完了] にタッチします。



- 試験紙ホルダが移動し、ロックされます。
- ③ 測定部カバーを閉めます。

4.2.2 測定部を清掃する



【E-101】または【T-203】が発生したら、測定部を清掃してください。

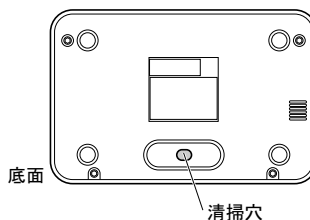


- 病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの清掃用具、保護手袋は一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

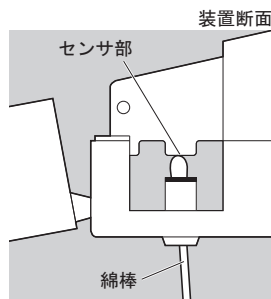
準備するもの：綿棒、保護手袋

- ① 試験紙ホルダを取りはずします。
 - ・ 4-2ページ「4.2.1. 試験紙ホルダを清掃する」手順1参照

- ② 装置底面にある清掃穴を確認します。

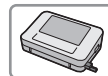


- ③ 測定部を清掃します。
 - ・ 水またはアルコールで湿らせた綿棒を清掃穴から入れます。
 - ・ 綿棒の先がセンサ部に当たっていることを確認しながら、汚れをふき取ります。



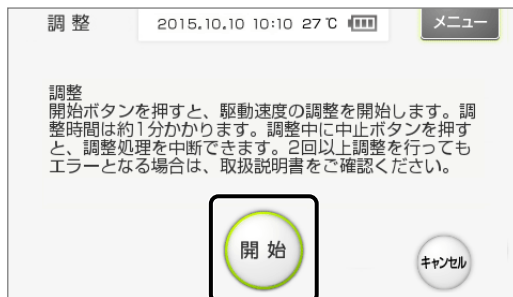
- ④ 試験紙ホルダを取りつけます。
 - ・ 4-4ページ「4.2.1. 試験紙ホルダを清掃する」手順2-③～3-③参照

4.2.3 駆動速度を調整する



試験紙ホルダの白板と測定部を清掃しても【E-101】または【T-203】が発生する場合は、駆動速度を調整してください。

- 1 トップメニュー画面から [メンテナンス] → [調整] の順にタッチします。
- 2 [開始] にタッチします。



- ・「調整中」と表示され、駆動速度の調整がおこなわれます（約1分間）。
- ・試験紙ホルダが移動します。

- 3 以下の画面が表示されたら、[確定] にタッチします。



- ・トップメニュー画面にもどります。



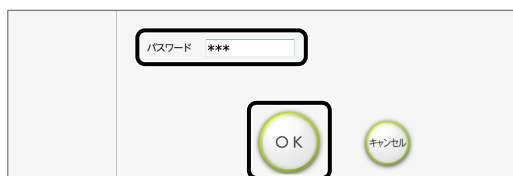
調整を2回以上おこなっても【E-101】または【T-203】が発生する場合は、お客様窓口（5-9 ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。

4.2.4 装置のソフトウェアを手動でバージョンアップする（必要なとき）

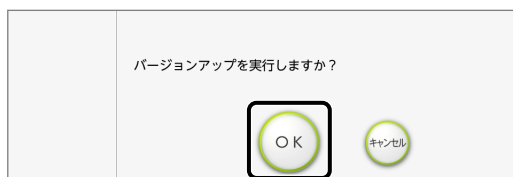


装置のソフトウェアを手動でバージョンアップします。必要に応じておこなってください。

- ① パソコンと装置がUSBケーブルで接続され、装置の電源が切れていることを確認します。
- ② 唾液検査結果シート作成プログラムのトップメニュー画面から、[設定] → [保守] の順にクリックします。
- ③ [装置バージョンアップ] をクリックします。
- ④ [パスワード入力画面] に、弊社営業員またはサービスマンから通知されたパスワードを入力し、[OK] をクリックします。



- ⑤ [OK] をクリックします。



- ⑥ 「接続確認中」と表示されたら、装置の電源を入れます。
 - ・ 装置に接続されると「転送中」と表示され、ソフトウェアのバージョンアップを開始します。

参考 「[T-504] タイムアウトしました」と表示されたとき
装置のバージョンアップを開始できませんでした。[OK] をクリックして、手順⑥からやりなおします。

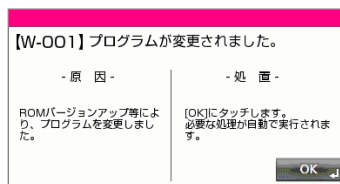
- ⑦ 装置のバージョンアップが完了し、[終了] と表示されたら、[OK] をクリックします。
 - ・ これでバージョンアップは完了です。
- ⑧ [メニュー] をクリックして、トップメニュー画面にもどります。

装置および唾液検査結果シート作成プログラムでウォーニング（警告）・エラー・トラブルが発生したときの処置について説明します。

5.1 装置のトラブル対策

装置でウォーニング・エラー・トラブルが発生してから、処置を終えるまでの流れは以下のとおりです。

- 1 ウォーニング・エラー・トラブルが発生すると、以下のようにお知らせします。
 - ・警告音「ピピピピピピ」
 - ・ウォーニング/エラー/トラブル番号とメッセージの表示
- 2 処置をします。
 - ・5-2ページ「5.1.1. ウォーニングの原因と処置」参照
 - ・5-3ページ「5.1.2. エラーの原因と処置」参照
 - ・5-4ページ「5.1.3. トラブルの原因と処置」参照
- 3 再発する場合は電源を切り、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。



注記

装置がフリーズしたとき

画面のボタンにタッチしても装置が動作せず、ウォーニング・エラー・トラブルも表示されない場合は、電源スイッチを10秒以上長押ししてください。装置の電源が切れます。次に、再度電源スイッチを長押しして、装置が正常に始動することを確認してください。

5.1.1 ウォーニングの原因と処置



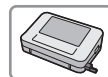
ウォーニングは操作手順の誤りなどが原因で発生します。簡単な処置で引き続き測定できるようになります。



- 測定試料に触れる可能性のある処置をするときは、病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの測定試料、保護手袋などは一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

番号	内容	原因	処置
【W-001】	プログラムが変更されました。	ROMバージョンアップ等により、プログラムを変更しました。	[OK] にタッチします。必要な処理が自動で実行されま す。
【W-002】	試験紙を取り除いて下さい。	電源を切る際に、試験紙ホルダに試験紙が残っていました。	試験紙を取り除き、[OK] にタッチ します。
【W-003】	試験紙ホルダが正しくセットされていません。	試験紙ホルダが、まちがってセットされています。	試験紙ホルダを正しくセットし、 [OK] にタッチします。
【W-011】	充電が不足しています。	測定に必要な充電残量が ありません。	[OK] にタッチします。電池を充電 してから測定を開始します。

5.1.2 エラーの原因と処置



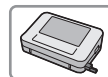
エラーは操作や測定 of 処理などに問題があり、測定結果に影響する場合に発生します。簡単な処置で引き続き測定できるようになります。



- 測定試料に触れる可能性のある処置をするときは、病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの測定試料、保護手袋などは一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

番号	内容	原因	処置
【E-100】	試験紙が正しくセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験紙がセットされていません。 ● 本装置に対応していない試験紙がセットされました。 ● 試験紙が、まちがってセットされています 	<ul style="list-style-type: none"> ● 専用試験紙を使用します。 ● 試験紙を試験紙ホルダに正しくセットします。[OK] にタッチして、電源を入れなおします。
【E-101】	LEDの光量が強すぎて測定できません。	<ul style="list-style-type: none"> ● 迷光が入っています。 ● LEDに異常があります。 	[OK] にタッチし、電源を切ります。試験紙ホルダの白板を清掃します(4-2ページ参照)。次に測定部を清掃します(4-5ページ参照)。清掃をしてもこのエラーが発生する場合は、駆動速度の調整をおこないます(4-6ページ参照)。
【E-102】	測定部に強い光が入っています。	迷光が入っています。	[OK] にタッチします。測定部カバーを閉じて、測定をやりなおします。
【E-103】	通信異常が発生しました。	装置とパソコンのあいだで、通信エラーが発生しました。	[OK] にタッチします。装置側とパソコン側で、USBケーブルをいったん取りはずし、再度接続します。次に測定をやりなおします。
【E-104】	温度異常が発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境温度が10～30℃から外れています。 ● 装置が環境温度になじんでいません。 ● 装置に異常があります。 	[OK] にタッチします。温度10～30℃の環境になじませてから測定をやりなおします。エラーが再発する場合は、お客様窓口(5-9ページ参照)までお問い合わせください。
【E-105】	測定中にパワーダウンが発生しました。	<ul style="list-style-type: none"> ● USBケーブルが装置またはパソコンに正しく接続されていません。 ● 電池が断線、または劣化しています。 	[OK] にタッチします。USBケーブルが正しく接続されているか確認してください。エラーが再発する場合は、お客様窓口(5-9ページ参照)までお問い合わせください。

5.1.3 | トラブルの原因と処置



トラブルは装置の電気回路、機構部などに異常がある場合に発生します。



- 測定試料に触れる可能性のある処置をするときは、病原微生物の感染を防ぐために、保護手袋をつけてください。
- 使用済みの測定試料、保護手袋などは一般のゴミと区別し、環境省「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル」にしたがって処理してください。

番号	内容	原因	処置
【T-200】	メモリの読み出しで異常がありました。	フラッシュROMから読み出したデータに異常があります。	[OK] にタッチします。一度電源を切ってから再度入れます。次に測定をやりなおします。
【T-201】	メモリへの書き込みで異常がありました。	フラッシュROMへのデータの書き込みに失敗しました。	
【T-202】	試験紙ホルダが正しく駆動できません。	試験紙ホルダが正しくセットされていません。	[OK] にタッチします。試験紙ホルダを正しくセットし、電源を入れないおします。
【T-203】	LEDの光量が弱すぎて測定できません。	白板と測定部が汚れています。	[OK] にタッチし、電源を切ります。試験紙ホルダの白板を清掃します(4-2ページ参照)。次に、測定部を清掃します(4-5ページ参照)。清掃をしてもこのトラブルが発生する場合は、駆動速度の調整をおこないます(4-6ページ参照)。
【T-204】	演算の異常	測定結果の演算が正しくおこなわれませんでした。	[OK] にタッチします。一度電源を切ってから再度入れます。次に測定をやりなおします。
【T-205】	駆動速度の調整で異常が発生しました。	駆動部のモータや基板に異常がある可能性があります。	[OK] にタッチします。試験紙ホルダの清掃方法に問題がないことを確認し、お客様窓口(5-9ページ参照)までお問い合わせください。
【T-999】	ソフトウェアトラブル	その他のトラブルが発生しています。	電源を切り、お客様窓口(5-9ページ参照)までお問い合わせください。

5.2

唾液検査結果シート作成プログラムのトラブル対策

唾液検査結果シート作成プログラムでウォーニング・エラー・トラブルが発生してから、処置を終えるまでの流れは以下のとおりです。

- ① ウォーニング・エラー・トラブルが発生すると、右図のように番号とメッセージが表示されます。
- ② 処置をします。
 - ・ 5-6ページ「5.2.1. ウォーニングの原因と処置」参照
 - ・ 5-7ページ「5.2.2. エラーの原因と処置」参照
 - ・ 5-8ページ「5.2.3. トラブルの原因と処置」参照
- ③ 再発する場合は、お客様窓口（5-9ページ「5.3. アフターサービス」）までご連絡ください。

[W-306] 読込先を指定してください。



5.2.1 ウォーニングの原因と処置



ウォーニングは操作手順の誤りが原因で発生します。簡単な処置で引き続き使用できます。

番号	内容	原因	処置
【W-301】	該当する患者情報がありません。	入力したカルテ番号または患者名に該当するデータがありません。	[OK] をクリックし、正しいカルテ番号または患者名を入力します。
【W-302】	カルテ番号を入力してください。	カルテ番号が入力されていません。	[OK] をクリックし、カルテ番号を入力します。
【W-303】	該当カルテ番号が存在しました。	同じカルテ番号がすでに登録されています。	[OK] をクリックし、正しいカルテ番号を確認します。
【W-304】	該当する検査履歴がありません。	入力したカルテ番号に該当するデータがありません。	[OK] をクリックし、正しいカルテ番号を入力します。
【W-305】	保存先を指定してください。	データの保存先が指定されていません。	[OK] をクリックし、保存先を指定します。
【W-306】	読み込先を指定してください。	読み込むデータが保存されている場所が指定されていません。	[OK] をクリックし、データの保存場所を指定します。
【W-307】	パスワードが違います。	パスワードがまちがっています。	[OK] をクリックし、正しいパスワードを入力します。
【W-308】	データを選択してください。	結果シートを呼び出していない状態で [編集] をクリックしました。	編集したい結果シートを呼び出してから、[編集] をクリックしてください。
【W-309】	選択は2件までにしてください。	結果シート (タイプB、C) に表示する過去の検査結果を3件以上選択しました。	[OK] をクリックします。過去の検査結果を2件まで選択します。
【W-310】	測定データがありません。	測定結果を最後まで受信できませんでした。	[OK] をクリックします。装置の [履歴] にタッチして、該当のカルテ番号の測定結果であることを確認し、[転送] にタッチします。該当のカルテ番号と異なる場合または転送できない場合は、測定をやりなおします。
【W-311】	対象データがありません。	送信データ作成の対象となる測定結果が保存されていません。	[OK] をクリックし、測定を実施してから再度、送信データ作成を実施します。

5.2.2 エラーの原因と処置



エラーは、パソコンの環境が原因で正しく動作しなかった場合に発生します。原因を取り除くことで再び使用できます。

番号	内容	原因	処置
【E-401】	更新が失敗しました。	データベースの更新中に異常が発生しました。	[OK] をクリックし、エラーが発生する前におこなった操作を再度実施します。
【E-402】	送信が失敗しました。	通信中に異常が発生しました。	パソコンと装置との間のUSBケーブルを接続しなおします。唾液検査結果シートプログラム、装置を再起動して、エラーが発生する前におこなった操作を再度実施してください。
【E-403】	データ取り出しができませんでした。	パソコンのメモリ容量が不足しています。	[OK] をクリックします。パソコンのメモリを増設します。
【E-404】	データ読み込みができませんでした。	指定した読み込み先にデータがないか、ファイルが破損しています。	[OK] をクリックし、読み込むデータの保存場所を確認します。
【E-405】	検査結果一覧データを作成できませんでした。	パソコンの保存容量(HDD)が不足しています。	[OK] をクリックします。パソコンのメモリを増設します。
【E-406】	印刷できませんでした。	プリンタがパソコンに接続されていません。	プリンタをパソコンに正しく接続します。
【E-407】	測定データを受信できませんでした。	測定の完了時に、装置からデータを正しく受信できませんでした。	[OK] をクリックします。装置をパソコンに正しく接続します。装置の[履歴] にタッチして、該当のカルテ番号の測定結果であるか確認し、[転送] にタッチします。該当のカルテ番号と異なる場合または転送できない場合は、測定をやりなおします。

5.2.3 | トラブルの原因と処置

トラブルは、唾液結果シート作成プログラムから装置のバージョンアップが正しく動作しなかった場合に発生します。原因を取り除くことで再び使用できます。

番号	内容	原因	処置
【T-501】	転送プログラムの設定ファイルを開けません。	転送プログラムの設定ファイルに異常があります。	パソコンと装置との間のUSBケーブルを接続しなおします。唾液検査結果シートプログラム、装置を再起動して、トラブルが発生する前におこなった操作を再度実施してください。
【T-502】	書き込み制御プログラムのファイルを開けません。	書き込み制御プログラムのファイルに異常があります。	
【T-503】	書き込みROMデータのファイルを開けません。	書き込みROMデータのファイルに異常があります。	
【T-504】	タイムアウトしました。	書き込みを開始してから10秒以内に装置から応答がありませんでした。	

5.3 アフターサービス

■保証書

本装置の梱包箱には、保証書が入っています。装置を修理するときに必要ですので、所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管しておいてください。

■修理について

装置の調子が悪いときは	お客様窓口までご連絡ください。
保証期間中の修理は	保証書の記載内容に基づいて、修理させていただきます。
保証期間が過ぎているときの修理は	有料にて修理させていただきます。

■問合わせ先

お客様窓口（全国共通）

0120-103-400 <通話料無料>

受付時間 平日 8 : 30 ~ 18 : 00
 土曜日 8 : 30 ~ 12 : 00

索引を掲載しています。必要に応じて参照してください。

6.1 索引

記号

←ボタン	1-9
↑ボタン	1-8
↓ボタン	1-8
×ボタン	1-9

アルファベット

USB 端子	1-5
--------	-----

あ

明るさ	3-1, 3-7
アフターサービス	5-9

い

医院 / 医師名設定	3-3
医院名	3-18
医師名	3-18
一日の終わりに	2-25
一覧表作成	3-3
移動時の注意	1-11
インストールと接続	1-12

う

ウォーニング	
装置	5-2
唾液検査結果シート作成プログラム	5-6

え

エラー	
装置	5-3
唾液検査結果シート作成プログラム	5-7

お

お手入れの時期	4-1
温度	1-6
音量	3-1, 3-7

か

開始ボタン	1-7
概要	1-1
確定ボタン	1-8
画面の明るさ	3-7
カルテ番号	1-7
カルテ番号の表示桁	3-6
患者情報	2-6
インポートする	3-16
患者情報読み込み	3-3

き

キャンセルボタン	1-8
----------	-----

く

駆動速度	4-6
------	-----

け

警告ラベル	iii
結果シート	
印刷する	2-18
印刷例	2-19
作成する	2-16
編集する	3-13
結果シートコメント設定	3-3
結果データ	
一覧表を作成する	3-17
インポートする	3-15
エクスポートする	3-14
結果データ読み込み	3-3

は

ハードウェア要求	1-3
番号表示	3-1

ひ

日付	3-1
日付・時刻	
装置	1-6
唾液検査結果シート作成プログラム	1-9
日付・時刻の設定	3-4
表示 / 操作パネル	1-5, 1-6

ほ

保守	3-3
補助操作	
装置	3-1
唾液検査結果シート作成プログラム	3-2

め

名称とはたらき	1-5
メニューボタン	
設定画面	1-8
測定画面	1-7
メンテナンスボタン	1-6

よ

呼出し	3-3
呼出しボタン	1-9

り

履歴	3-1, 3-11
履歴ボタン	1-6

販売元

アークレイ株式会社

京都市南区東九条西明田町57 〒601-8045

製造販売元

株式会社アークレイ ファクトリー

滋賀県甲賀市甲南町柑子1480 〒520-3306

аркгау